

# V 業績目録



# 1 著書・論文・投稿

著者	タイトル	出版社・書名・誌名ほか	発行年
鈴木 貴博	川崎市立井田病院 ～災害拠点病院への指定とDMAT活動～	川崎市医師会会誌 387: 677-678, 2023	2023年1月
Harada Y Shimada K Harada SJ Sato T Kubota Y Yamashita M	Iodine-123 $\beta$ -methyl-P-iodophenyl-pentadecanoic acid (123I-BMIPP) myocardial scintigraphy for breast cancer patients and possible early signs of cancer-therapeutics-related cardiac dysfunction (CTRCD).	J Imaging. 2022, 8(11):296. doi: 10.3390/jimaging8110296. Epub 2022 Oct 27	2022年
中塚 逸央	33. 甲状腺疾患治療薬	小竹良文編：手術患者の術前使用薬コントロール. 克誠堂出版株式会社	2022年
早川 道太郎 鈴木 千尋 椎山 理恵 安西 秀美	大細胞神経内分泌癌の皮膚転移と考えられた1例	臨床皮膚科, 76(4): 327-332, 2022, 4.	2022年
早川 道太郎 鈴木 千尋 椎山 理恵 菊池 眸 小嶋 由香 淀谷 雄亮 安西 秀美	手背に生じたMycobacterium abscessus subsp. abscessus皮膚感染症の1例	臨床皮膚科, 76(10): 817-823, 2022, 11.	2022年
Michitaro Hayakawa Chihiro Suzuki Yingyao Zhu Hidemi Anzai	Allergic contact dermatitis to gold in the parts of in-ear headphones.	Contact Dermatitis, 86(4):328-330, 2022, 4.	2022年
Michitaro Hayakawa, Chihiro Suzuki, Yingyao Zhu, Hidemi Anzai	A case of sea anemone dermatitis associated with acute renal failure caused by Phyllodiscus semoni	J Eur Acad Dermatol Venereol, 36(11):e919-e920, 2022, 11.	2022年
關口 真理奈 小宮 有子 川北 哲也 今村 裕	原爆被爆後に滲出型加齢黄斑変性を発症した2例	臨床眼科 77巻1号pp. 119-124	2023年
西 智弘	緩和ケアレジデントマニュアル 第2版	医学書院	2022年

著者	タイトル	出版社・書名・誌名ほか	発行年
Yamaguchi T, Mori M, Nishi T	The impact of death rattle on bereaved families: not the sound itself, but the resonance with their feelings	Japanese Journal of Clinical Oncology, Volume 52, Issue 7, July 2022, Pages 774-778	2022年
佐藤 恭子	最期まで家で過ごしたい—在宅終末期がん治療・ケアにおいてリハビリテーション医療ができること—	「Monthly Book Medical Rehabilitation」No.284, 全日本病院出版会	2023年2月
Moemi Kimura, Takazumi Yasui, Seiji Asoda, Hiroki Nagamine, Tomoya Soma, Takeshi Karube, Rie Kodaka, Wataru Muraoka, Taneaki Nakagawa, Katsuhiko Onizawa	Evaluation of the surgical approach based on impacted position and direction of mesiodens	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Volume 35, Issue 1, January 2023, Pages 23-29	2023年1月
佐野 剛史 菊池 眸 高橋 加奈子 松本 麗 伊藤 万里子	唾液および鼻咽頭ぬぐい液を適用検体とする新型コロナウイルス検出迅速抗原検査キットの評価	自然科学社 医学と薬学 第80巻 第3号	2023年3月
坪内 理恵子 谷合 英太郎 吉住 和樹 小林 岳 大倉 輝明	処方箋の抗菌薬使用量の動向から推測する地域における経口抗菌薬使用のサーベイランス	日本薬剤師会雑誌	2023年

## 2 学会発表

演者	演題名	学会名	場所	発表日
山下 博美 中島 由紀子 中垣 達 西尾 和三 伊藤 大輔	結核を契機にHIV感染が判明した外国籍女性の一例	第680回日本内科学会関東地方会	東京国際フォーラム	2022年9月24日
桑野 柚太郎 中島 由紀子 中野 泰 久保田 敬乃 西尾 和三 伊藤 大輔	難治性気胸を合併したHIV-1陽性ニューモシスチス肺炎(PCP)の1例	第685回日本内科学会関東地方会	東京国際フォーラム	2023年3月11日
小野里 隆太 亀山 直史 中垣 達 西成田 詔子 荒井 亮輔 中野 泰 杜 雯林 西尾 和三	粟粒転移をきたしたEGFR遺伝子変異(exon 19 deletion)陽性肺腺癌の1例	第253回 日本呼吸器学会関東地方会	東京	2023年2月
Yuko Harada	Effectiveness of Ivabradine for Cancer Therapeutics-Related Cardiac Dysfunction (CTRCD)	5th edition of international cancer conference (ICC 2022)	London, UK (virtual)	2022年9月17日
Yuko Harada	Atypical Brain Stroke with Peripartum Cardiomyopathy	7th Neurological Disorders Summit (NDS-2022)	San Francisco, USA (virtual)	2022年7月21日
三嶽 秀介 狩野 圭子 山本 桂一 久保 貴利 山下 三代子 原田 裕子 好本 達司	心筋シンチグラフィにおけるMUS法の使用経験	第60回全国自治体病院学会	那覇	2022年11月10日
大淵 加奈 小菅 友也 福原 昇	MRI撮像法Bone like imageによる骨転移の評価	第60回全国自治体病院学会	那覇	2022年11月10日
池 瞳 高松 正視 伊藤 大輔 原田 裕子 好本 達司 鈴木 千尋 櫻川 忠之	扁平上皮癌との鑑別が困難であった肛門腺癌の1例	第680回日本内科学会関東地方会 (ハイブリッド開催)	東京	2022年9月24日
岩井 佑太 高松 正視 倉増 佑樹 中島 文 雑賀 優鳥 中野 泰 西尾 和三 伊藤 大輔 杜 雯林	抗酸菌性腸炎を背景として短期間に腸閉塞を繰り返した1剖検例	第681回日本内科学会関東地方会 (ハイブリッド開催)	東京	2022年10月22日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
朱 瀛瑤 鈴木 千尋 早川 道太郎 安西 秀美	若年女性の外陰部に生じた硬化性萎縮性苔癬の1例	第899回東京地方会, web, 2021, 12. 18	web	2021年12月18日
早川 道太郎 鈴木 千尋 朱 瀛瑤 安西 秀美	急性腎不全を伴ったウンバチインギンチャク Phyllodiscus Semoni皮膚炎の1例	第38回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会, 鹿児島, 2022, 4. 23	鹿児島	2022年4月23日
早川 道太郎 鈴木 千尋 朱 瀛瑤 殿村 駿 前田 麻美 安西 秀美	急性腎不全を伴ったウンバチインギンチャク Phyllodiscus Semoni皮膚炎の1例	第121回日本皮膚科学会総会, 京都, 2022, 6. 3	京都	2022年6月3日
朱 瀛瑤 鈴木 千尋 早川 道太郎 三浦 圭子 安西 秀美	顔面外病変を呈した肉芽腫性酒さの1例	第121回日本皮膚科学会総会, 京都, 2022, 6. 3	京都	2022年6月3日
朱 瀛瑤 鈴木 千尋 土屋 茉里絵 安西 秀美	右下肢軟部組織炎を呈した劇症型溶血性レンサ球菌感染症に感染性心内膜炎を合併した1例	第86回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京, 2022, 11. 19	東京	2022年11月19日
嶋田 恭輔	『乳癌治療における支持療法について』	薬剤師のためのがんの支持療法を学ぶWebセミナー 主催:第一三共株式会社	at Web配信	2022年5月20日
嶋田 恭輔 (座長)	『ページニオを使いこなす～多職種連携の取り組み～』	Lilly Breast Cancer Web Conference in Kawasaki 主催:日本イーライリリー株式会社	at Web配信	2022年6月24日
久保内 光一1、 保科 淑子1、 井手 佳美1、 内田 士郎2、 嶋田 恭輔3、 佐藤 知美3, 4、 堤 寛5 1 菊名記念病院 乳腺外科、 2 菊名記念病院 病理診断科、 3 川崎市立井田病 院 乳腺外科、 4 川崎市立川崎病 院 乳腺外科、 5 つつみ病理診断 クリニック	『HER2 type乳癌 3亜型における術前化療効果予測について-TNBCとの比較』	第30回日本乳癌学会学術総会	Atパシフィコ横浜ノース	2022年6月30日～7月2日
Yuko Harada Kiyosuke Shimada Yukino Kubota	『Effectiveness of Ivabradine for Cancer Therapeutics-Related Cardiac Dysfunction(CTRCD)』	ICC (5TH EDITION OF INTERNATIONAL CANCER CONFERENCE)		2022年9月16日～9月17日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
鴨狩 ひとみ 市川 良和 小宮 有子 西尾 真似 藤本 太一 高野 洋之 今村 裕	中心性漿液性脈絡網膜症(CSC)における近視眼の頻度と中心窩脈絡膜厚	第76回日本臨床眼科学会	東京国際フォーラム	2022年10月16日
雑賀 優鳥 藤 真央 高窪 毅 丹保 公成 金澤 寧彦 中島 由紀子 栗原 夕子 原田 裕子 中野 泰 荒井 亮輔 阿南 隆介	当院での糖尿病合併 COVID-19患者の特徴(第1報)	第65回日本糖尿病学会年次学術集会	神戸ポートアイランド	2022年5月12日
雑賀 優鳥 金澤 寧彦 佐藤 真央 高窪 毅 丹保 公成 龜山 直史 西尾 和三 鈴木 貴博 伊藤 大輔 高野 洋之	原発性副甲状腺機能亢進症の経過中にサルコイドーシスを併発した一例	第683回日本内科学会関東地方会	WEB開催	2022年12月10日
木村 萌美 横田 智恒 村岡 渡	上顎臼歯部口蓋歯肉の知覚鈍麻を主訴に来院した翼口蓋窩部腫瘍の1例	第27回日本口腔顔面痛学会学術大会	千葉県松戸市	2022年10月9～10日
木村 萌美 横田 智恒 浅野 崇浩 柴崎 竣一 井上 真梨子 矢島 祥助 落合 駿介 遠藤 友樹 吉川 桃子 村岡 渡	下口唇を原発とした粘膜関連リンパ組織節外性辺縁帯リンパ腫(MALTリンパ腫)の1例	第67回日本口腔外科学会総会・学術大会	千葉県千葉市	2022年11月4～6日
木村 萌美 横田 智恒 村岡 渡	口腔内に初発症状を認めた腫瘍随伴性天疱瘡(PNP)の1例	第214回日本口腔外科学会関東支部学術集会	東京都中央区	2022年12月10日
木村 萌美 横田 智恒 浅野 崇浩 矢島 祥助 村岡 渡	ステロイド内服患者における顎関節部に症状を呈した慢性下顎骨骨髓炎の1例	第35回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会	北海道札幌市	2022年7月2～3日
白田 頌渡 村岡 整治 蒔生 裕正 河奈 種昭 中川	神経内科と医療連携を行った慢性頭痛患者の臨床的検討～顎関節症に起因する頭痛への対応～	第35回日本顎関節学会学術大会総会・学術大会	北海道札幌市	2022年7月2～3日
嶋田 恭輔 (座長)	『他力本願チーム医療によるタスクシフト～どうやって外来診療をマネージメントしていますか?～』	再発乳癌治療のチーム医療を考える～少数精鋭で取り組む乳腺外科医の工夫～ 主催：ファイザー株式会社	at横浜ベイホテル東急 B1階「プリンス」or Web配信	2022年10月12日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
嶋田 恭輔 (座長兼バチスト)	『発売5年目を迎えたイブランスの臨床経験から考える～副作用フォローとその工夫～』	再発乳癌治療のチーム医療を考える～少数精鋭で取り組む乳癌外科医の工夫～ 主催：ファイザー株式会社	at横浜ベイホテル東急 B1階「プリンス」 or Web 配信	2022年10月12日
嶋田 恭輔	『症例検討～超音波画像から考える診断カテゴリー判定～』	横浜乳腺画像診断勉強会 主催：横浜乳腺画像診断勉強会 アストラゼネカ株式会社	atTKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランド マークタワー25階 or Web配信	2022年11月16日
嶋田 恭輔 (座長)	『当院における乳がん治療の実際～エリプリンの投与経験をふまえて～』	第3回 KOBR in Kanagawa 主催：エーザイ株式会社	at Web配信	2023年2月3日
嶋田 恭輔 (ディスカッション)	『G-CSF適正使用ガイドライン2022を考える -ジールスタ®皮下注3.6mgボディーボッドの未来-』	横浜北部・川崎エリア 乳がんガイドラインカンファレンス2023 主催：協和キリン株式会社	at Web配信	2023年2月7日
西 智弘	緩和医療(教育講演)	第19回日本臨床腫瘍学会学術集会	国立京都国際会館	2022年2月17日
西 智弘	早期からの緩和ケア外来 全国調査	第27回日本緩和医療学会学術大会	神戸	2022年7月2日
増田 香織	新型コロナウイルス感染症の呼吸困難に対するオピオイド投与症例の報告	第27回日本緩和医療学会学術大会	神戸	2022年7月2日
秋本 香南	メサドン投与量と心電図変化についての検討	第27回日本緩和医療学会学術大会	神戸	2022年7月2日
栗田 華代	当施設における終末期の悪性尿路閉塞に対する腎瘻造設症例の検討	第27回日本緩和医療学会学術大会	神戸	2022年7月2日
梶谷 美砂	緊急入院となった終末期患者の予後関連因子についての検討	第27回日本緩和医療学会学術大会	神戸	2022年7月2日
此枝 生恵	嚥下障害として加療されていた超高齢者の食道異物症例	第73回日本気管食道科学会	沖縄	2022年11月3日
阪本 陽介 阿南 隆介 川井 雅敏 米澤 江里奈 奥 佳代 栗原 夕子 鈴木 貴博	治療抵抗性の自己免疫性溶血性貧血に対してベリムマブを投与した1例	第680回日本内科学会関東東地方会	東京	2022年9月24日
山本 佳穂 阿南 隆介 川井 雅敏 阪本 陽介 米澤 江里奈 奥 佳代 栗原 夕子 鈴木 貴博	ANCA関連肥厚性硬膜炎で再燃した顕微鏡的多発血管炎の1例	第680回日本内科学会関東東地方会	東京	2022年9月24日
伊藤 万里子	肉芽腫性乳腺炎40例の検討～超音波画像を中心に～	第48回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	名古屋	2022年4月23日
藤間 有美	血液型検査2回別採血の周知に向けた当院の取り組みについて	第71回日本医学検査学会	大阪	2022年5月21日

演者	演題名	学会名	場所	発表日
佐野 剛史	第22回サンプルサーベイ 結果解析	第24回KEMS研究会 学術集会	慶應大学	2022年10月29日
西岡 夢実	浸潤性尿路上皮癌亜型と膀胱原発印環細胞癌の鑑別に苦慮した一例	第61回日本臨床細胞学会秋期大会	仙台	2022年11月6日
高橋 深雪 (4西)	新人看護師が就業継続できるように必要なサポート ～半構造化面接により得られた新人看護師の思い～	第60回全国自治体病院学会	那覇文化芸術劇場なはと・ホテルコレクティブ沖縄県立武道場	2022年11月10日・11月11日
田村 桂子 (外来)	KORTUCを受ける患者の看護	第60回全国自治体病院学会	那覇文化芸術劇場なはと・ホテルコレクティブ沖縄県立武道場	2022年11月10日・11月11日
野間 美智子 (7西) 宗片 菜摘 (5東)	人工呼吸器離脱困難患者の関わりを振り返る ～多職種カンファレンスを実施して～	第60回全国自治体病院学会	那覇文化芸術劇場なはと・ホテルコレクティブ沖縄県立武道場	2022年11月10日・11月11日
松橋 彩 (HCU)	低酸素脳症の患者家族への代理意志決定の支援 —臨床倫理4分割法を用いた振り返り—	令和4年度 看護研究・活動報告会	川崎市ナースングセンター	2023年2月21日
槌田 咲 (HCU)	抜管後、呼吸状態が悪化し急変した事例について —行動できなかった原因を振り返る—	令和4年度 看護研究・活動報告会	川崎市ナースングセンター	2023年2月21日

### 3 講演・講師派遣

演者	演題名	会合名	場所	年月日
鈴木 貴博	座長	SLE Expert 奥憲志 SLE治療におけるアニフロルマブへの期待	横浜市(web)	2023年3月16日
鈴木 貴博	座長	SLE Anifrolumab Experts Web series 萩山裕之 SLE治療におけるサブネローへの期待 ～実臨床での経験も踏まえて～ 症例提示ディスカッション	横浜市(web)	2023年3月7日
鈴木 貴博	川崎市災害医療コーディネーター	令和4年度災害時病院連携訓練 (北部)	川崎市役所第3庁舎 5階総務企画局企画 調整課会議室(川 崎市保健医療調整 本部)	2022年12月11日
鈴木 貴博	災害医療とリウマチ性疾患	TAISHO 関節リウマチwebセミナー	川崎市(web)	2022年12月9日
鈴木 貴博	シンポジウム 働き方改革における救急受け入れ対応 川崎市中部：中原2次救・火金土当番制について	第10回かわさき救急フォーラム	川崎市 (ハイブリッド)	2022年12月6日
鈴木 貴博	インストラクター	令和4年度神奈川県地域災害医療コーディネーター研修	神奈川県総合医療 会館 横浜市	2022年11月20日
鈴木 貴博	CBRNE災害について	令和4年度神奈川県災害時医療救護活動研修会	横浜市(県庁) web	2022年11月17日
鈴木 貴博	災害医療の基本 災害医療の概論・災害医療の原則	令和4年度かながわDPAT研修	web	2022年11月5日
中島 由紀子	「最近の感染症情報と感染管理について」	川崎市看護協会技術研修	川崎	2022年10月5日
中島 由紀子	当院における感染症診療	慶應義塾大学健康マネジメント研究科オンライン授業	Web	2022年8月10日
原田 裕子	二次性高血圧の管理と症例提示	循環器領域高血圧Symposium	Web	2022年4月7日
原田 裕子	DOAC処方に躊躇する症例への対応	NEW ERA循環器治療カンファレンス	Web	2022年4月21日
原田 裕子 (座長)	聴診から始まる大動脈弁狭窄症の診断とカテーテル治療 -TAVI-	川崎南部心臓弁膜症小規模講演会	川崎日航ホテル ハイブリッド形式	2022年10月19日
原田 裕子	左心耳閉鎖術～紹介する際のポイント～患者さんが戻られてからのケア～	神奈川AF Management seminar	Web	2022年10月20日
原田 裕子	当院の心不全治療における最近の話題	川崎市中部エリアカンファレンス	Web	2023年3月13日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
高松 正視 (座長)	長期予後を目指した肝硬変治療のトピック	肝疾患診療 WEBセミナーin 川崎	ホテルKSP Web形式	2022年4月18日
高松 正視 (Closing Remarks)	最適な潰瘍性大腸炎の外来診療～基本から応用 へ～	IBD連携 WEBセミナー	コンベンションホール Web形式	2022年6月10日
滝本 千恵 (座長)	「診療所から病院へのCKD紹介に関して」「病院から 診療所へのCKD逆紹介に関して」	人生100年時代、これからのCKD 診療	川崎・Web	2022年6月14日
滝本 千恵 (座長)	その他の合併症/血液疾患	第67回日本透析医学会学術集 会・総会	横浜	2022年7月2日
金澤 寧彦	血糖コントロールに係る薬剤投与関連 「インスリン投与量の調整の実際」	日本看護協会 看護研修学校 糖尿病看護学科 認定看護師講 義	東京都清瀬市梅園1-2- 3 日本看護協会 看 護研修学校	2022年9月22日
久保田 敬乃	がん性疼痛の診方-ことはじめ-	第1回川崎市立井田病院スキル アップ研修会	川崎	2022年5月17日
鈴木 果里奈	がんサポートチームの活動について	第1回川崎市立井田病院スキル アップ研修会	川崎	2022年5月17日
梶谷 美砂	緊急入院となった終末期患者の予後関連因子に ついての検討	第2回川崎市立井田病院スキル アップ研修会	川崎	2022年7月19日
栗田 華代	終末期の腫瘍性尿路閉塞	第2回川崎市立井田病院スキル アップ研修会	川崎	2022年7月19日
増田 香織	壮年期がん患者とその家族への意思決定支援 「医師の立場から」	第3回川崎市立井田病院スキル アップ研修会	川崎	2022年10月18日
濱田 麻里子	壮年期がん患者とその家族への意思決定支援 「がん相談支援センターの看護師の立場から」	第3回川崎市立井田病院スキル アップ研修会	川崎	2022年10月18日
大野 洋平	対麻痺の在宅療養患者を支える「医師の立場か ら」	第1回かわさき在宅ケア・緩和 ケア症例検討会	川崎	2022年6月21日
栗田 華代	在宅で困る尿道カテーテル管理とストマトラブル 「医師の立場から」	第2回かわさき在宅ケア・緩和 ケア症例検討会	川崎	2022年9月20日
牛込 志乃	在宅で困る尿道カテーテル管理とストマトラブル 「認定看護師の立場から」	第2回かわさき在宅ケア・緩和 ケア症例検討会	川崎	2022年9月20日
増田 香織	在宅終末期における患者家族の意向の支え方 「その人らしく過ごすために」	第3回かわさき在宅ケア・緩和 ケア症例検討会	川崎	2022年11月15日
白澤 佳代	つなぐ看護～院内でシームレスに対応した一例 ～「退院調整看護師の立場から」	第4回かわさき在宅ケア・緩和 ケア症例検討会	川崎	2023年1月17日
坂内 ひろみ	つなぐ看護～院内でシームレスに対応した一例 ～「訪問看護師の立場から」	第4回かわさき在宅ケア・緩和 ケア症例検討会	川崎	2023年1月17日
増井 さゆみ	下半身麻痺が進行した末期がん患者の看護を振り 返って	第6回かわさき在宅ケア・緩和 ケア症例検討会	川崎	2023年3月14日
久保田 敬乃	E-learningの復習・質問	がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	川崎市立 井田病院	2022年12月18日
久保田 敬乃	がん患者の療養場所の選択、地域における医療 連携、在宅における緩和ケア	がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	川崎市立 井田病院	2022年12月18日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
柴田 滋文 佐藤 恭子 夏 錦言 三島 牧 西 智弘 梶谷 美砂 栗田 華代 久保田 敬乃 秋本 香南 都留 世里 鈴木 果里奈	『コミュニケーション』 がん医療におけるコミュニケーション	がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	川崎市立 井田病院	2022年12月18日
濱田 麻里子	地域緩和ケアの取り組み	がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	川崎市立 井田病院	2022年12月18日
西 智弘	『がん疼痛事例検討』【講義】 ○全人的苦痛に対する緩和ケア（臓器がん）	がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	川崎市立 井田病院	2022年12月18日
西 智弘 佐藤 恭子 久保田 敬乃 三島 牧 夏 錦言 柴田 滋文 梶谷 美砂 栗田 華代 秋本 香南 都留 世里 鈴木 果里奈	『がん疼痛事例検討』【グループワーク】 ○ グループ演習による症例検討 がん疼痛に対する治療と具体的な処方	がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	川崎市立 井田病院	2022年12月18日
久保田 敬乃	【講義】 ○がん患者の療養場所の選択及び地 域連携についての要点	がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	川崎市立 井田病院	2022年12月18日
西 智弘 佐藤 恭子 久保田 敬乃 三島 牧 夏 錦言 梶谷 美砂 栗田 華代 秋本 香南 都留 世里 鈴木 果里奈	『療養の場所の選択と地域連携』 がん患者の療養場所の選択、地域における医療 連携、在宅における緩和ケア 【グループワー ク】 ○グループ演習による症例検討	がん診療に携わる医師に対する 緩和ケア研修会	川崎市立 井田病院	2022年12月18日
佐藤 恭子	がん患者に対する生活期のリハビリテーション 診療	令和4年度 生活期のリハビリ テーション医療にかかわる医師 の為の研修会(上級)	日本生活期リハビ リテーション医学 会	2023年2月5日
村岡 渡	教育セミナー 2 「慢性疼痛の薬物療法」 「顎 関節症の慢性疼痛に対する薬物療法によるアプ ローチ」	第35回日本顎関節学会学術大 会・総会	北海道 札幌市	2022年7月3日
村岡 渡	日本顎関節学会合同シンポジウム 米国NASEMレポートから顎関節症と口腔顔面痛の 将来を見通す 「口腔顔面痛学会の考える将来展望」	第27回日本口腔顔面痛学会学術 大会・総会	千葉県松戸市	2022年10月10日
村岡 渡	臨床診断推論のための症例①	口腔顔面痛診断実習セミナー	WEB	2022年9月11日
村岡 渡	口腔顔面痛エキスパートセミナー ケーススタディー 1, 2	日本口腔顔面痛学会口腔顔面痛 エキスパートセミナー	WEB	2022年12月11日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
村岡 渡	歯科治療を契機に生じる 神経障害性疼痛とその治療	宮城県歯科医師会学術講演会	WEB	2023年1月19日
村岡 渡	「顎関節症の痛みに関する最前線」顎関節症の痛みと薬物療法・(急性痛と慢性痛の対応の違いなど)	日本顎関節学会第53回学術講演会	WEB	2023年2月5日
村岡 渡	歯科医師のための慢性疼痛診療 研修会「口腔顔面痛の治療 I～薬物療法を中心に～」	厚生労働省令和4年度慢性疼痛診療システム普及・人材育成モデル事業(東北地区)	宮城県仙台市	2023年2月5日
竹内 あかり	マンモグラフィのキホン	第1回関東DR研究会	Web	2022年7月30日
谷内田 綾	摂食嚥下のリハビリテーションについて	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会令和4年度介護多職種セミナー	神奈川	2022年8月27日
福島 貴子	新型コロナウイルス感染症対策	福祉施設のための出前出張講座	特養虹の里	2022年9月21日
福島 貴子	冬期に流行する感染症への対応	福祉職員向け医療講座	川崎市総合福祉センター	2022年10月25日
福島 貴子	新型コロナウイルス感染症対策	中原老人福祉センター	中原老人福祉センター	2022年11月17日
福島 貴子	新型コロナウイルスの最新情報	住吉地区社会福祉協議会	川崎市国際交流センター	2022年11月11日
福島 貴子	高齢者と感染症	高津老人福祉センター	高津老人福祉・地域交流センター	2023年1月31日
森田 純子	新型コロナウイルス感染症対策	中原区老人クラブ連合	中原区役所	2023年2月6日
森田 純子	ウィズコロナの中での医療機関としての役割	港北病院感染対策研修会	港北病院	2023年2月20日
佐藤 弘康	病院における臨床検査技師の役割	北里大学保健衛生専門学院セミナー	zoom	2022年9月8日
佐藤 弘康 西岡 夢実	細胞検査士試験における鏡検対策	関東圏細胞診勉強会	東京	2022年11月3日
亀山 亜希夫	オンライントークライブ 「臨床研究のコツ」	神奈川県栄養士会医業事業部	zoom	2022年12月13日
亀山 亜希夫	「おいしくつくる介護調整食を学ぼう」	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会介護多職種セミナー	zoom	2022年11月25日
生稲 麻紀子	「点滴・静脈内注射、揺血について」	未就業看護師等復職支援研修	川崎市ナースセンター研修室	2022年7月12日
				2022年10月7日
柳井田 恭子	PBLチューター(糖尿病性腎症をもつ患者の看護)	成人看護学(慢性期) II	神奈川県立保健福祉大学	2022年6月28日
				2022年7月5日
				2022年7月12日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
篠山 薫	統合演習Ⅰ（アドバイザー）「看護実践における倫理的課題への取り組み」「問題解決への取り組み」	認定看護管理者教育課程フェーストレベル	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	2022年11月5日
				2022年11月17日
				2022年11月25日
				2022年12月9日
				2023年1月20日
宮崎 奈々 吉田 龍也	食物アレルギー・熱中症について、心肺蘇生法について	職員研修	川崎市立宮内中学校	2022年6月8日
長利 紗瑛	健康生活看護学実習（地域包括ケア病棟看護師から見た慢性期患者への実際の看護と慢性期看護の役割について）	職員研修	医療創生大学（福島県いわき市）	2022年6月8日 （～11月30日）
宮崎 奈々	「演習支援・打合せ 臨床推論（医療面接）」	認定看護師教育課程	日本看護協会看護研修学校	2022年7月8日
宮崎 奈々	「演習支援・打合せ フィジカルアセスメント：基礎」	認定看護師教育課程	日本看護協会看護研修学校	2022年8月12日
深井 清乃	モジュール2 痛みのマネジメント モジュール10 質の高いエンドオブライフケアの達成	ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム	川崎市立川崎病院	2022年9月23日・9月24日
柳井田 恭子	演習助言者	認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修	神奈川県看護協会	2022年9月15日
柳井田 恭子	総合演習Ⅱ 演習指導者	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	神奈川県看護協会	2022年11月10日
				2022年12月7日
				2023年1月5日
				2023年1月5日・1月19日・1月23日
				2023年2月2日または2月3日
福島 貴子	～福祉施設や地域における感染防止対策について～	福祉職員向け医療講座	川崎市総合福祉センター	2022年10月25日
鈴木 果里奈	講師及び演習のファシリテーター	川崎市立井田病院緩和ケア研修会	川崎市立井田病院	2022年12月18日
牛込 志乃	続・高齢者福祉施設で働く看護師に必要な褥瘡ケア～正しい観察と治癒環境を整えるための知識～	川崎市老人福祉施設事業協会看護職員研修	川崎市老人福祉施設事業協会 たくのかわさき 会議室	2023年1月13日

演者	演題名	会合名	場所	年月日
神山 由美子	身体合併症・高齢化による身体・生理機能低下等に伴う急変患者に対する技術	医療安全研修会	港北病院	2023年1月23日
宮崎 奈々	演習支援 臨床推論観察評価	特定行為研修	日本看護協会看護研修学校	2023年1月27日
				2023年2月3日
白井 直子	「お口の健康について」	川崎市中原老人福祉センター「健康講座」	川崎市中原老人福祉センター	2023年2月2日
鈴木（大槻） 怜美	コロストミー・イレストミーのケア 体験発表会アドバイザー	日本オストミー協会川崎支部	川崎市総合福祉センター	2023年2月16日
内藤 祥子	～糖尿病とともに生きる人のスティグマについて考えよう～	第5回糖尿病ケアリング研究会	東京糖尿病ケアリング研究会	2023年2月25日



# VI 研修・実習



# 1 研修会

## (1) 放射線診断科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月15日		第78回日本放射線技術学会総会学術大会	日本放射線技術学会
4月17日		日本放射線技術学会 第84回放射線治療部会	日本放射線技術学会
5月6日		関東DR研究会 第15回実践in蓼科セミナー	関東DR研究会
5月14日		第38回日本核医学技術学会 関東地方会学術大会	日本放射線技術学会関東地方会
5月19日		「匠」学ぶ CT テクニカルセミナー	富士製薬工業株式会社
5月26日		3D ワークステーション攻略バイブル	富士フイルムメディカル株式会社
5月28日		AIMS Cardiac Imaging	エーザイ株式会社
5月28日		神奈川 PET・SPECT 研究会	神奈川 PET・SPECT 研究会
6月4日		今さら聞けない線量管理～法令とDRLs～	株式会社 A-Line
6月4日		肺腫瘍の画像診断	エーザイ株式会社
6月10日		EOB-MR による癌の転移診断	バイエル株式会社
6月17日		MR 循環器 心筋マッピング	バイエル株式会社
6月18日		2022年度 第1回神奈川県放射線治療技術研究会	神奈川県放射線治療技術研究会
6月23日		心不全診療 WEB セミナー	PDR ファーマ株式会社
7月9日		令和3年度厚生労働省告示第273号研修 (告示研修 実習)	日本診療放射線技師会
7月16日		治療計画セミナー① 「計画者の視点から学ぶ」	日本医学物理士会
7月20日		第74回救急放射線画像研究会 in 東京	救急放射線画像研究会
7月21日		実際の臨床に必要な躯幹部 CT 造影理論の ABC (基礎・再入門編)	ラジサポ F Web 講演会 No.7

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
7月22日		MRCP の撮像時術・臨床	神奈川県 MRI 技術研究会
7月23日		第18回 新潟放射線治療技術懇話会	新潟放射線治療技術懇話会
7月24日		富士フィルムメディカルセミナー2022 「エクセレントカンファレンス」	富士フィルムメディカル株式会社
7月26日		第433回 神奈川県核医学研究会定例研究会	神奈川県核医学研究会
7月30日		2022年度 第1回 関東 DR 研究会	関東 DR 研究会
7月30日		新人若手技師に贈る単純 X 線撮影の基本	DR 研究会
8月4日		鑑別にとっても役立つ特徴的な MR 信号	ゲルベジヤパン
8月5日		CathLab ベーシックコース vol.2	Boston Scientific
8月15日		診療用放射線の安全管理のための研修(C)	日本診療放射線技師会
8月20日		ラダーレベル1「エチケット・マナー」	日本診療放射線技師会
8月21日		ラダーレベル1「研究倫理指針」	日本診療放射線技師会
8月21日		ラダーレベル1「被ばく低減」	日本診療放射線技師会
8月21日		ラダーレベル1「自己教育・研究支援」	日本診療放射線技師会
8月21日		ラダーレベル1「感染対策」	日本診療放射線技師会
8月21日		ラダーレベル1「医療コミュニケーション」	日本診療放射線技師会
8月27日		第58回 放射線治療セミナー	日本放射線技術学会
8月27日		がん治療における臨床知識の再習得とアップデート	日本医学物理士会
9月4日		厚生労働省 事業継続計画研修	厚生労働省
9月10日		2022年度 第2回 関東 DR 研究会	関東 DR 研究会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
9月11日		日本放射線治療専門放射線技師認定 東海地区講習会	日本放射線治療専門放射線技師 認定機構
9月17日		第7回 小児がん放射線治療セミナー	小児がん放射線治療セミナー
9月17日		品質管理業務の効率化 ～ワークライフバランスに向けて～	日本医学物理士会
9月17日		DMAT 関東ブロック訓練	茨城県
9月26日		日本放射線治療専門放射線技師認定 九州1地区講習会	日本放射線治療専門放射線技師 認定機構
9月26日		Cardio MUSk 研究会	PDR ファーマ株式会社
10月1日		第38回 日本診療放射線技師学術大会	日本診療放射線技師会
10月1日		胃前壁上下部撮影のポイント～胃上部撮 影時のブラインドの対応策～	胃 X 線検査を楽しく学ぶ会
10月7日	10月9日	第50回日本放射線技術学会 秋季学術大会	日本放射線技術学会
10月9日		日本放射線技術学会 第85回 放射線治療部会	日本放射線技術学会
10月17日		第58回 神奈川アンギオ撮影研究会	神奈川アンギオ撮影研究会
10月21日		第124回 HIT の会	おおさかグローバル整形外科病 院
10月22日		第6回 放射線治療 あすなろ会総合学術セミナー	放射線治療あすなろ会
10月22日		第17回 Imaging Now in Kanagawa	神奈川県画像研究会
10月23日		東海放射線腫瘍研究会第60回技術部会	東海放射線腫瘍研究会
10月23日		令和4年度 神奈川県診療放射線技術講習会	神奈川県診療放射線技師会
11月6日		CT テクノロジー 第61回 Web 勉強会	CT テクノロジー勉強会
11月10日	11月11日	第60回 全国自治体病院学会 in 沖縄	全国自治体病院学会
11月11日		第81回 筑後・有明 CT・MRI セミナー	筑後・有明 CT・MRI セミナー

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
11月12日		第44回 岩手県 CT 研究会 第21回 高速らせん CT 研究会 共催	岩手県 CT 研究会
11月13日		第27回 中部 SOMATOM 研究会	中部 SOMATOM 研究会
11月15日		第116回 臨床画像研究会 -若葉会-	臨床画像研究会 -若葉会-
11月16日		第135回 高速 CT 研究会	高速 CT 研究会
11月16日		横浜乳腺画像診断勉強会	アストラゼネカ株式会社
11月17日		第32回 診療放射線技師フォーラム	愛知県診療放射線技師会
11月17日		災害時医療救護活動研修会	神奈川県危機管理室
11月18日		第34回 札幌テクノロジーフォーラム	札幌テクノロジーフォーラム エーザイ株式会社
11月19日		第26回 ももたろう CT イメージングセミナー	岡山 CT 技術研究会
11月19日		ぐんま・東京・千葉 3 乳房研究会合同講演会	ぐんまマンモグラフィ向上委員会・東京プレストミーティング他 同研究会
11月20日		第11回 救急撮影オープンカンファレンス	救急撮影オープンカンファレンス
11月25日		災害・震災における診療放射線技師の役割	愛知県診療放射線技師会
11月26日		第122回 神奈川県放射線治療技術研究会	神奈川県放射線治療技術研究会
11月26日		第2回 Breast Biopsy Webiner	株式会社メディコン
11月27日		第8回 栃木キャノン CT 懇話会	栃木キャノン CT 懇話会
11月27日		令和4年度 神奈川県診療放射線技術講習会(午前)	神奈川県診療放射線技師会
11月29日		腹部 CT における空間分解能やヨード造影剤について	ラジサポ F Web 講演会 No.9
12月3日		神奈川 PET・SPECT 研究会	神奈川 PET・SPECT 研究会
12月9日		第23回 茨城県央救急撮影研究会	茨城県央救急撮影研究会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
12月11日		関東・首都圏合同キヤノンCTユーザー会	関東キヤノンユーザー会
12月12日		令和4年度 愛知県放射線治療研究会	日本放射線技術学会
12月13日		統一講習会コース1	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
12月14日		第18回 救急画像研究会	滋賀県診療放射線技師会
12月17日		第4回 富士QQ 災害撮影研究会	ゲルベ・ジャパン株式会社
12月18日		第3回 救急撮影講習会	日本救急撮影技師認定機構
12月18日		令和4年度 神奈川県診療放射線技術講習会(午前)	神奈川県診療放射線技師会
1月5日		統一講習会コース2	日本放射線治療専門放射線技師認定機構
1月21日		心臓核医学談話会	心臓核医学談話会
1月22日		第6回 機構主催講習会 (スキルアップセミナー)	日本X線CT専門技師認定機構
1月29日		令和4年度 神奈川県診療放射線技術講習会(午後)	神奈川県診療放射線技師会
1月29日		RRS について MRI(肩関節、股関節、膝関節)	神奈川県 神奈川県診療放射線技師会
2月5日		第32回 放射線治療品質管理士講習会	放射線治療品質管理機構
2月12日		診療放射線技師基礎技術講習 基礎技術コース「消化管造影」	神奈川県診療放射線技師会
2月16日		第437回 神奈川核医学研究会	神奈川核医学研究会
2月18日		日本心臓CT技術研究会	日本心臓CT技術研究会 富士製薬工業株式会社
3月11日		第21回 消化管先進画像診断研究会	消化管先進画像診断研究会
3月17日		検査・撮像へのこだわり	東京MR励起会
3月18日		第2回 放射線治療品質保証講習会	放射線治療品質保証研究開発応用機構

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
3月19日		令和4年度 実践的放射線治療人材育成セミナー 放射線治療品質管理講習会	広島がん高精度放射線治療センター
3月26日		第109回 埼玉 CT Tecnology Seminar 学術集会	埼玉 CT 技術研究会
3月28日		第142回 Tokyo CT Technology Seminar	東京 CT テクノロジーセミナー
1月9日	3月31日	よこはま 乳がんがっこう	乳がん研究グループ よこはま乳がん学校事務局

## (2) 検査科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
5月21日	5月22日	第71回日本医学検査学会	日本臨床衛生検査技師会
5月27日	5月29日	第142回医用超音波講義講習会	超音波検査学会
5月31日		ビオメリュー 質量分析機器勉強会	ビオメリュージャパン
6月26日		タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 実技講習	日本臨床検査技師会
7月1日	7月2日	第97回 日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会	日本結核・非結核性抗酸菌症学会
7月9日		第48回無侵襲新機能検査法研究会	ノバルティスファーマ株式会社
7月16日		腹部エコーハンズオンセミナー	US-ism
8月5日		血圧脈波検査の基礎セミナー	フクダコーリン
8月20日	8月21日	第8回脳波セミナー・アドバンスコース	日本臨床神経生理学会
8月22日	9月5日	2022年度 第82回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会
9月11日		心電図の基礎から3歩進むセミナー	心電図研修所合同会社
10月29日		第24回KEMS研究会 学術集会	KEMS 研究会
11月5日	11月6日	第61回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
11月12日		信濃町心エコーカンファレンス講習会 2022	沢井製薬
11月19日		ライサス学術交流会	日水製薬株式会社
11月21日	12月18日	Clinical Webiner 呼吸器感染症	極東製薬工業株式会社
11月23日		日本医療検査科学会第54回大会	日本医療検査科学会
11月23日	11月26日	日本臨床神経生理学会学術大会	日本臨床神経生理学会
11月26日		ベックマン・コールター感染症セミナー	ベックマン・コールター
12月2日		第30回 関東感染症懇話会	関東感染症懇話会
12月9日		TAISHO 関節リウマチ WEB セミナー	大正製薬
12月10日		ニッスイ感染症研究会	日水製薬株式会社
12月10日		第26回 SRL 感染症フォーラム	H.U フロンティア株式会社
12月13日		嫌気性菌検査の培養と同定の進め方	極東製薬工業株式会社
12月21日		GE Sonographers seminar	GE
1月14日		第17回 神奈川県合同輸血療法委員会	神奈川県合同輸血療法委員会
3月3日		令和4年度 臨床検査精度管理報告会	日本医師会
3月4日		第4回ニッスイ近畿感染症セミナー	日水製薬
3月4日	3月26日	第2回 K-LAB ブラッシュアップセミナー	K-Lab Conference
3月11日		第9回 GC 研究会	極東製薬 TOYOBO
3月13日	3月31日	神奈川県精度管理報告研修会	神奈川県臨床検査技師会

(3) 薬剤部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
5月9日		神奈川がん薬物療法・専門薬剤師セミナー（第1回）	神奈川県病院薬剤師会
5月10日		輸液の基礎・基本シリーズ	大塚製薬工場
5月12日		心不全における SGLT2 阻害薬について	神奈川県病院薬剤師会
5月14日		第62回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー	日本化学療法学会
5月14日	5月15日	第15回日本緩和医療薬学会年会	日本緩和医療薬学会
5月20日		薬剤師のためのがん支持療法を学ぶ WEB セミナー	第一三共
5月31日	6月1日	第37回日本臨床代謝栄養学会学術集会	日本臨床代謝栄養学会
6月3日	6月5日	第70回日本化学療法学会総会	日本化学療法学会
6月11日		令和4年度日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会【基礎編】	日本病院薬剤師会
6月17日		最新胃がんガイドラインについて（部内研修）	ヤクルト
6月20日		肝・腎領域における栄養管理セミナー	大塚製薬工場
6月24日		Lilly Breast Cancer Web Conference in Kawasaki 「ページニオを使いこなす～多職種連携の取り組み」	日本イーライリリー
6月28日		第3回 川崎市薬剤師会症候学研修会	川崎市薬剤師会
6月28日	7月25日	AMR 対策と抗菌薬の適正使用	塩野義製薬
6月29日	8月23日	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	日本病院薬剤師会
7月1日		スタートアップセミナー	日本臨床腫瘍薬学会
7月12日		Essential Seminar Neo2022 A～C プログラム	日本臨床腫瘍薬学会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
7月15日		バイオシミラーについて(部内研修)	ファイザー
7月29日		令和4年度「薬の値引き交渉術勉強会」	全国自治体病院協議会
8月16日		令和4年度ファーマシーマネジメントセミナー	神奈川県病院薬剤師会
8月20日	8月21日	日本フォーミュラリ学会オープンセミナー	日本フォーミュラリ学会
9月1日		第4回川崎市薬剤師会症候学研修会	川崎市薬剤師会
9月3日		CHUGAI Directors of Pharmacy Forum 2022 ～Challenges for the new era～	中外製薬
9月7日		2022年度第1回感染領域専門・認定薬剤師養成講習会	神奈川県病院薬剤師会
9月7日		9月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
9月8日		神奈川がん薬物療法・専門薬剤師セミナー(第2回)	神奈川県病院薬剤師会
9月10日		第17期感染症倶楽部 on WEB	北陸感染症コンソーティアム
9月12日		JMDCオンラインセミナー「データを活用した医療機関の薬剤部門マネジメント」	株式会社JMDC
9月14日		第2回AST講習会	日本化学療法学会
9月16日		2022年度 第1回 薬剤部会オンラインセミナー	全国自治体病院協議会
9月17日	9月18日	第10回日本くすりと糖尿病学会学術集会	日本くすりと糖尿病学会
9月23日	9月25日	第32回日本医療薬学会年会	日本医療薬学会
10月1日		がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会	厚労省
10月12日		令和4年度全国都市立病院薬局長協議会・研修会	全国都市立病院薬局長協議会
10月13日		10月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
10月14日		令和4年度感染制御専門薬剤師講習会 (第2回 web)	日本病院薬剤師会
10月15日		再発乳癌治療のチーム医療を考える～ 少数精鋭で取り組む乳腺外科医の工夫 ～	ファイザー
10月18日		緩和スキルアップ・フォローアップ研修 会	井田病院
10月19日		輸液の基礎・基本シリーズ	大塚製薬工場
10月20日		第4回川崎市薬剤師会症候学研修会	川崎市薬剤師会
10月25日		第69回日本化学療法学会東日本支部総 会	日本化学療法学会
10月27日		相模原地区研修会	神奈川県病院薬剤師会
10月29日		日本医療バランスト・スコアカード研究 学会 第19回学術総会	日本医療バランスト・スコアカ ード研究学会
10月29日		令和4年度 第1回横浜・川崎地区研修 会	神奈川県病院薬剤師会
11月1日	12月23日	がん専門薬剤師集中講座	日本病院薬剤師会
11月10日		11月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
11月14日		神奈川がん教育外部講師育成WEBセミナ ー	神奈川県がん疾病対策課
11月15日		緩和スキルアップ・フォローアップ研修 会	井田病院
11月16日		第116回かわやくセミナー	川崎市薬剤師会
11月21日		令和4年度 第2回横浜・川崎地区研修 会	神奈川県病院薬剤師会
11月23日		Dr.RIKIの感染症倶楽部～今冬のかぜ/コ ロナ/インフルをどう見極める?～	ケアネット
11月26日	11月27日	第31回 BSC 導入ワークショップ	日本医療バランスト・スコアカ ード研究学会
12月4日		令和4年度病院薬剤師版バランスト・シ ョアカードセミナー	神奈川県病院薬剤師会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
12月5日		2022年度 第2回 薬剤部会オンラインセミナー	全国自治体病院協議会
1月14日		慶應義塾大学関連病院第42回学術講演会	慶應義塾大学病院
1月17日		川崎市感染症セミナー	川崎市医師会・川崎市内科医会
1月22日		令和4年度病院薬剤師版バランスト・シコアカードセミナー	神奈川県病院薬剤師会
1月20日		第5回 SANDOZ Oncology Web Seminar 愛知県がんセンターにおける抗がん剤暴露対策と課題	サンド株式会社
1月21日		令和4年度DIスキルアップ講座	神奈川県病院薬剤師会
2月2日		オピオイドの適正使用を考える会(LIVE配信)	塩野義製薬
2月3日		IPF Expert WEB	塩野義製薬
2月17日		薬局・薬剤師への期待～令和5年度薬価改定・安定供給等特例措置の対応、令和6年度改定に向けて～	メディコム
2月17日		中小病院診療所委員会横須賀地区研修会	神奈川県病院薬剤師会
2月19日		病院薬剤師の未来に向けた改革を考えるセミナー	日本病院薬剤師会
2月9日		2月薬学合同研修会	神奈川県病院薬剤師会
3月4日	3月5日	日本臨床腫瘍薬学会学術大会	日本臨床腫瘍薬学会
3月7日		第1回臨床推論研修会	神奈川県病院薬剤師会
3月14日		第117回かわやくセミナー	川崎市薬剤師会

(4) 看護部

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月	2023年3月 (264時間)	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	神奈川県立保健福祉実践教育センター
5月19日		看護補助者の活用推進のための看護管理者研修-2	神奈川県ナースセンター研修室
5月24日	5月27日	保健師・看護師等基礎実践コース	結核予防会結核研究所
5月29日		看護補助者活用推進のための看護管理者研修	川崎市ナースセンター研修室
6月10日		看護記録の質向上を目指して～形式監査・質監査～①	神奈川県看護協会
6月11日	6月12日	第36回ストマリハビリテーション講習会	横浜市立大学福浦キャンパス
6月30日	7月1日	第1回看護管理研修会	全国自治体病院協議会
7月5日	7月6日	主任看護師に必要なマネジメントの基礎知識①	神奈川県看護協会
7月11日	7月12日	感染リンクナースのための感染管理①	神奈川県看護協会
7月12日	7月15日	保健師・看護師等基礎実践コース(第3回)	結核予防会結核研究所
7月22日		看護の日常にある看護を考えよう①	神奈川県看護協会
7月	2023年1月 (40時間)	医療安全管理者養成研修(インターネット配信研修)	日本看護協会研修学校
8月4日	8月5日	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	日本看護協会
8月6日	8月9日	栄養サポートチーム研修	日本健康・栄養システム学会
8月22日	12月19日	保健師助産師看護師実習指導者研修	昭和大学保健医療学部
8月23日・31日 9月28日または29日		神奈川県看護職員認知症対応力向上研修	神奈川県
9月2日		中堅看護師支援研修～イキイキと働き続けるために～	神奈川県看護協会
9月16日		看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	神奈川県看護協会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
9月21日		摂食嚥下障害のある患者の看護	神奈川県看護協会
9月28日		厚生労働省の定める看護職員認知症対応向上研修	神奈川県知事
10月6日	2月24日	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	神奈川県看護協会
10月18日	10月21日	保健師・看護師等基礎実践コース(第4回)	結核予防会結核研究所
10月25日		入退院支援に関する研修	川崎市看護協会(川崎市総合自治会館)
10月	2023年3月(204時間)	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	神奈川県立保健福祉実践教育センター
11月4日		フィジカルアセスメント(応用編)～複雑な状況を判断するために～②	神奈川県看護協会
11月10日		看護補助者の更なる活用推進のための看護管理者研修	全日本病院協会
11月15日		入退院支援に関する研修	川崎市看護協会(てくのかわさき)
11月16日		栄養サポートチーム研修	日本健康・栄養システム学会
11月27日		看護補助者の更なる活用推進のための看護管理者研修	全日本病院協会
11月28日		看護補助者の更なる活用推進のための看護管理者研修	全日本病院協会
12月5日	12月7日	糖尿病患者のフットケア	神奈川県看護協会

#### (5) 食養科

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月16日		第28回神奈川摂食・嚥下リハビリテーション研究会	神奈川摂食・嚥下リハビリテーション研究会
4月28日	6月30日	令和4年度診療報酬改定(栄養関連項目)説明会	日本栄養士会
5月10日		輸液の基礎・基本WEB勉強会	大塚製薬工場
6月15日		「診療報酬を1から学ぶ」研修会	日本栄養士会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
6月17日		川崎市病院栄養管理部会 第1回研修会	川崎市病院栄養管理部会
6月20日		肝・腎領域における栄養管理セミナー	大塚製薬工場
6月26日		臨床栄養学セミナーⅠ	神奈川県栄養士会
6月28日		オンライントークライブ 「どうして今、人材育成なのか」	神奈川県栄養士会 医療事業部会
7月8日	8月7日	全国栄養士大会	日本栄養士会
7月21日		介護・多職種セミナー	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
8月1日	9月30日	日清オイリオ×ナースの星 WEB セミナー	日清オイリオ×ナースの星
8月4日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多 職種セミナー	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
8月23日		日本糖尿病協会 DMアンサンブル座談会	日本糖尿病協会
8月26日		「集中治療における栄養管理（総論・基 礎編）」	ネスレ日本株式会社
8月27日		介護・多職種セミナー	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
9月1日	9月7日	CKD栄養指導スキルアップセミナー	ヘルシーネットワーク
9月4日		第15回神奈川県糖尿病療養指導士認定機 構研修会	神奈川県糖尿病療養指導士認定 機構
9月11日		第29回神奈川県摂食・嚥下リハビリテー ション研究会	神奈川県摂食・嚥下 リハビリテーション研究会
9月14日		オンライントークライブ 「壁の乗り越え方」	神奈川県栄養士会 医療事業部会
9月26日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多 職種セミナー	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
10月1日	10月31日	がん栄養療法実践セミナー	日本栄養士会
10月8日		市民公開講座「肝がん治療の現状」	川崎市病院協会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
10月19日		CKD 食事療法 conference 「CKD 患者への栄養指導の実際とオンライン栄養指導の活用」「CKD 患者のフレイルと私たちにできる食事・栄養療法」	キッセイ薬品工業株式会社
10月20日		嚥下調整食の実態と工夫について	キッセイ薬品工業株式会社
10月23日		臨床栄養学セミナーⅡ 「現場で生きる！ 摂食嚥下障害の臨床とアセスメント」	神奈川県栄養士会医療事業部会
10月28日		川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 介護多職種セミナー	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
11月11日		川崎市病院栄養管理部会 第2回研修会 「今 知っておきたい輸液療法」について～提案の幅が広げられる経静脈栄養の管理～	川崎市病院栄養管理部会
11月25日		介護・多職種セミナー	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
12月5日		診療報酬セミナー「早期栄養介入加算」	ネスレ日本株式会社共催企画
12月10日		神奈川県医療専門職連合会 職能セミナー	神奈川県医療専門職連合会
12月12日		第2救急集中治療領域の栄養管理	ネスレ日本株式会社
12月15日	3月15日	第3回栄養部会オンラインセミナー	全国自治体病院協議会
1月30日		化学療法と亜鉛セミナー	
1月30日	2月28日	第20回病態栄養セミナー	武蔵野フーズ
1月13日	1月15日	第26回日本病態栄養学会年次学術集会	病態栄養学会
2月5日		栄養管理セミナー 「現場で生きる！ 厨房から患者に届ける安心・安全の嚥下食 ～ 理解と取組みのヒント～」	神奈川県栄養士会医療事業部会
2月26日		「糖尿病治療支援と地域連携を考える」	神奈川県糖尿病療養指導研究会

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
3月3日	3月13日	第42回食事療法学会	日本栄養士会
3月11日	3月26日	実践研究大会	神奈川県栄養士会
3月16日		オンライントークライブ 「わたしたちの働き方改革」	神奈川県栄養士会 医療事業部会
3月21日		症例から学ぶスキルアップセミナーin 神奈川	病態栄養学会神奈川ブロック

#### (6) リハビリテーションセンター

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
4月16日		第28回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会	神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会
4月16日	4月17日	第34回ハンドセラピィ学会学術集会	日本ハンドセラピィ学会
6月4日		第7回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会関東支部学術大会	一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会関東支部
6月24日	6月25日	第23回日本言語聴覚学会	一般社団法人日本言語聴覚士協会
8月6日	8月7日	第44回日本呼吸療法医学会 学術集会	一般社団法人日本呼吸療法医学会
9月11日		第29回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会	神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会
9月16日	9月18日	第56回日本作業療法学会	日本作業療法士協会
9月23日	9月24日	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会
10月29日	10月30日	第9回日本サルコペニア・フレイル学会	一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会
11月11日	11月12日	第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
12月11日		第5回神奈川県臨床作業療法大会	神奈川作業療法士会

(7) 地域医療部・在宅緩和ケアセンター

開催日		名 称	学会・実施機関等
自	至		
6月2日		2022年度第1回神奈川県がん相談員研修会	神奈川県がん診療連携協議会
6月25日	6月26日	第70回日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会	日本医療ソーシャルワーカー協会
7月1日	7月2日	第27回日本緩和医療学会学術集会	日本緩和医療学会
8月		退院支援看護師として学ぶ、育成する要点	日総研
8月20日		入院時重症患者対応メディエーター養成研修会	日本救急医学会
9月21日	1月28日	医療対話推進者養成セミナー	病院機能評価機構
10月		2022年度がん相談員継続研修認定更新コース	国立がん研究センター
10月7日		2022年度第2回神奈川県がん相談員研修会	神奈川県がん診療連携協議会
10月25日		入退院支援に関する研修	川崎市健康福祉局
11月5日		看護管理者がイキイキ働ける労務管理	神奈川県看護協会
12月9日		2022年度第3回神奈川県がん相談員研修会	神奈川県がん診療連携協議会
12月23日		医療チームにおける心理的安全性	神奈川県看護協会
1月28日		入院時重症患者対応メディエーター実務者発表会	日本救急医学会
2月3日		結核指定医療機関等研修会	川崎市健康福祉局
2月5日		第43回東京消化器内視鏡技術研修会	東京消化器内視鏡技術会
2月24日		避けて通れない高齢者の退院支援	すこやか
2月25日	2月26日	第37回日本がん看護学会学術集会	日本がん看護学会
3月2日		西神奈川呼吸ケアセミナー	帝人ヘルスケア株式会社
3月15日		地域ケアカンファレンス	港北区・港北区内地域ケアプラザ

## 2 実習指導

### (1) 食養科

期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
2月6日～17日	臨床栄養臨地実習	神奈川工科大学	食養科	1

### (2) 薬剤部

期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
5月23日～8月7日	病院実務実習	横浜薬科大学	薬剤部	1
8月22日～11月6日	病院実務実習	慶應義塾大学	薬剤部	1
8月22日～11月6日	病院実務実習	横浜薬科大学	薬剤部	1

### (3) 看護部

期 間	実習指導名	学 校 名	担当課	人数
5月9日～5月12日	成人看護実践論ⅢB(緩和ケア)	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	2
5月9日～7月1日	老年看護学実習Ⅱ	川崎市立看護短期大学	看護部	39
5月9日～7月1日	在宅看護論	川崎市立看護短期大学	看護部	8
6月16日～6月17日	看護学概論	東京医療保健大学	看護部	7
6月20日～7月1日	統合実習(基礎看護学・看護管理学)	武蔵野大学	看護部	10
7月4日～7月7日	成人看護実践論ⅢB(緩和ケア)	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	3
7月11日～7月22日	基礎看護学実習Ⅱ	横浜中央看護専門学校	看護部	5
7月12日～7月19日	成人看護学実習Ⅰ(前半クール)	川崎市立看護短期大学	看護部	15
7月12日～7月21日	統合看護実習	東京工科大学	看護部	3
9月5日～9月13日	基礎看護実習(1クール)	武蔵野大学	看護部	18

9月20日～10月28日	老年看護学実習Ⅱ	川崎市立看護短期大学	看護部	29
9月25日～10月4日	基礎看護実習（2クール）	武蔵野大学	看護部	18
9月26日～9月29日	成人看護実践論ⅢB(緩和ケア)	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	2
10月17日～10月28日	在宅看護論	川崎市立看護短期大学	看護部	2
10月17日～10月20日	成人看護実践論ⅢB(緩和ケア)	神奈川県立衛生看護専門学校	看護部	2
10月31日～11月8日	老年看護学実習Ⅱ	聖路加国際大学	看護部	12
11月7日～11月17日	テーマ別看護論（終末期患者の看護論）	川崎市立看護短期大学	看護部	5
11月7日～11月17日	テーマ別看護論	川崎市立看護短期大学	看護部	10
11月21日～11月25日	基礎看護学実習Ⅰ（1クール）	川崎市立看護大学	看護部	20
11月28日～12月2日	基礎看護学実習Ⅰ（2クール）	川崎市立看護大学	看護部	20
12月5日～12月13日	終末期ケア実践(1クール)	慶応義塾大学	看護部	3
12月5日～12月15日	成人看護学実習Ⅱ（1クール）	川崎市立看護短期大学	看護部	15
1月16日～1月24日	終末期ケア実践(2クール)	慶応義塾大学	看護部	3
1月16日～1月26日	成人看護学実習Ⅱ（2クール）	川崎市立看護短期大学	看護部	15
合計				266



## VII 委員会



2022年度 院内各種委員会一覧  
 ＊掲載内容は2022年度のもの

No.	名 称	委員長	役職	実施時期
1	医療安全管理委員会	伊藤 大輔	病院長	毎 月
	医療事故の防止策の企画立案、患者の安全確保、適切な医療の提供体制の確立、安全に係る委員会の統括			
2	医療安全部会	西尾 和三	内科部長	毎 月
	インシデントレポート・事故報告書の事例分析、安全対策の実施			
3	院内感染対策委員会	中島 由紀子	感染症内科部長	毎 月
	院内感染の予防策の作成、予防対策の監視・指導等による感染防止			
4	感染部会	中島 由紀子	感染症内科部長	毎 月
	患者・職員における感染対策の徹底と質の向上			
5	輸血療法委員会	中塚 逸央	麻酔科部長	隔 月
	輸血の安全確保、事故防止、輸血業務の適正・円滑な処理、血液製剤の有効利用の向上			
6	放射線安全委員会	福原 昇	放射線治療科部長	随 時
	放射線障害の防止、安全の確保、放射線発生装置の安全管理の徹底			
7	医療ガス安全管理委員会	中塚 逸央	麻酔科部長	年1回
	医療ガス設備の安全管理による患者の安全確保			
8	衛生委員会	鈴木 貴博	副院長	毎 月
	職員の健康障害の防止と健康の保持増進及び職場環境の改善			
9	働き方改革推進委員会	伊藤 大輔	病院長	随 時
	病院職員の勤務環境を改善する取組の推進、医師や看護職員の負担の軽減、処遇改善に関する取組計画を作成し、評価や見直しを行う			
10	薬事委員会	小林 岳	副薬剤部長	毎 月
	医薬品の適正管理、効率的な運用の審議、薬物療法の向上			
11	医療機器管理委員会	中塚 逸央	麻酔科部長	随 時
	院内に配置されている医療機器の管理・調整			
12	透析機器安全管理委員会	滝本 千恵	腎臓内科部長	随 時
	透析液水質確保加算の施設基準届出に必要となる適切な水質管理実施や透析機器等の管理計画の作成			
13	医療放射線管理委員会	山下 三代子	放射線診断科部長	随 時
	放射線診療のプロトコール管理、被ばく線量管理、放射線の過剰被ばくその他放射線診療に関する事例発生時の対応等、診療用放射線の安全利用に係る管理			
14	医療事故防止対策委員会	西尾 和三	内科部長	随 時
	診療内容の監査機関			
15	治験・臨床研究倫理審査委員会	鈴木 貴博	副院長	毎 月
	倫理的、科学的及び医学的妥当性の観点から治験・臨床研究の実施及び継続の審議			
16	倫理委員会	掛札 敏裕	副院長	随 時
	医療行為に関し、倫理的・社会的観点からの審査			
17	保険委員会	岩田 壮吉	婦人科部長	毎 月
	保険診療及び保険請求の適正化向上			
18	DPC委員会	荒川 清隆	医事課長	毎 月
	DPC制度に関する研修の実施			
19	診療情報管理委員会	水谷 憲生	整形外科部長	毎 月
	入院外来等診療情報の管理・運用の向上、システムの検討			
20	診療録管理委員会	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎 月
	サマリの作成、推進、管理、カルテ、訪問記録の質的向上の検討			
21	救急医療運営委員会	田熊 清継	救急総合診療センター所長	毎 月
	救急医療の取り組みの充実・強化			
22	当直検討部会	鈴木 貴博	副院長	毎 月
	当直業務における問題点、課題の共有と解決策の検討			
23	災害時医療等委員会	鈴木 貴博	副院長	毎 月
	災害医療に関する準備、企画検討、訓練の実施			
24	地域連携委員会	原田 裕子	血液内科部長	毎 月
	地域の医療機関との連携及び支援の推進、地域医療支援病院の認定を図る			
25	地域がん診療連携拠点病院推進委員会	嶋田 恭輔	乳腺外科部長	毎 月
	地域がん診療連携拠点病院としての体制整備・推進			

No.	名 称	委員長	役職	実施時期
	目的や内容			
26	がん患者の病態に応じた、より適切ながん医療の提供を図る	嶋田 恭輔	乳腺外科部長	随 時
27	化学療法管理委員会 実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性の評価・承認	西尾 和三	内科部長	毎 月
28	クリニカルパス委員会 クリニカルパスの作成・運用	中塚 逸央	麻酔科部長	毎 月
29	褥瘡対策委員会 褥瘡対策の企画立案、対策の推進、管理・運営	安西 秀美	皮膚科部長	隔 月
30	NST(栄養サポートチーム)運営委員会 栄養管理を通し、安全で効率的な医療サービスの提供へ寄与	栗原 夕子	内科担当部長	毎 月
31	嚥下・口腔サポートチーム部会 嚥下評価や口腔ケア、摂食環境などの環境整備を図る	此枝 生恵	耳鼻咽喉科医長	随 時
32	給食委員会 食事療法の質の向上	栗原 夕子	内科担当部長	隔 月
33	職員研修委員会 教育研修に関する企画・実行・評価による職員の資質の向上	鈴木 貴博	副院長	随 時
34	研修管理委員会 初期臨床研修の企画立案、運用管理	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	随 時
35	看護師特定行為研修部会 地域における医療・介護の総合的な確保を推進するため、特定行為を実施する看護師を計画的に養成	鈴木 貴博	副院長	随 時
36	図書委員会 図書室の適正な運用と医療情報の収集・提供による職員の業務の向上	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎 月
37	機種・診療材料選定委員会 導入する機器の仕様決定、公平かつ適正な機種確保及び医療機器の試用の検討、効率的な物品調達	掛札 敏裕	副院長	随 時
38	市民交流・サービス向上委員会 患者サービスの向上及び職場環境の向上	藤原 実香	副院長	毎 月
39	ホームページ・広報委員会 ホームページの管理、広報「井田山」の編集企画、発行管理	田中 良典	事務局長	随 時
40	臨床検査管理委員会 臨床検査の適正化・能率化を図る	岩田 壮吉	検査科部長	随 時
41	外来診療委員会 外来診療に関する諸問題の調整・検討	西尾 和三	内科部長	随 時
42	手術部委員会 手術室の有効な運営管理を図る	中塚 逸央	麻酔科部長	毎 月
43	HCU委員会 HCU・CCUの有効な運営管理を図る	西尾 和三	呼吸器内科部長	隔 月
44	院内がん登録運用委員会 地域がん診療連携拠点病院の指定要件A項目に追加された要件、「院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関（委員会）を設置している」への対応	掛札 敏裕	副院長	随 時
45	地域包括ケア病棟運営委員会 地域包括ケア病棟への入院の可否の判定、入院順位の決定、その他入院に関すること	水谷 憲生	整形外科部長	隔 月
46	緩和ケア委員会 緩和ケアの提供、運用が適切・円滑に行われるよう体制の整備・促進を図る	佐藤 恭子	緩和ケア内科部長	毎 月
47	がんサポート・緩和ケア部会 がん患者とその家族に対し、質の高い緩和ケアを提供し、QOLの向上を目指す	久保田 敬乃	緩和ケア内科担当部長	随 時
48	病床管理運営委員会 病床の適正な管理運営を図るとともに、病棟の個室料金についても検討する	掛札 敏裕	副院長	随 時
49	ハラスメント防止対策委員会 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント及び妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止及び対策を講じる	伊藤 大輔	病院長	随 時
50	糖尿病サポートチーム運営委員会 糖尿病ケアの向上	金澤 寧彦	糖尿病内科部長	毎 月
51	認知症ケア委員会 認知症ケアの質の向上	荒井 亮輔	呼吸器内科医長	毎 月

## 1 医療安全管理委員会

毎月第4木曜日を定例日として開催しました。医療安全部会を下部組織に持ち、院内感染対策委員会、輸血療法委員会、放射線安全委員会、医療ガス安全管理委員会、衛生委員会、薬事委員会、医療機器管理委員会を統括しており、各委員会での決定事項の周知の徹底と提案事項の検討及び承認、懸案事項についての検討を図りました。

(文責 書記[庶務課] 岡本 拓郎)

## 2 医療安全部会

毎月第3火曜日を定例日として、各部門の毎月のインシデント報告の集計や医療安全情報の共有とともに、個々の事例の原因分析や再発防止策の具体的検討などを行いました。

2022年度は医療安全管理マニュアルを見やすい、活用できる表記の視点で見直しし、全面改訂を行いました。また医療安全週間を活用し、医療安全啓蒙活動推進のためのポスターを各部門で作成し外来廊下へ掲示しました。外来患者さんに「いいね投票」をして頂き院内の医療安全への取り組みを共有しました。今後も、患者参加型の医療安全推進活動に取り組んでいきます。

(文責 書記[庶務課] 岡本 拓郎)

## 3 院内感染対策委員会

毎月第2月曜日に開催しています。内容として、BSI(中心静脈カテーテル由来血流感染)、UTI(尿道留置カテーテル関連尿路感染)、SSI(手術部位感染)サーベイランス結果、針刺し・切創・粘膜曝露の報告、研修会開催の周知、感染症発生の際には事例報告と対策の共有、院内ラウンド結果共有を行います。検査科からは血液培養2セット率・転入院患者の保菌状況・耐性菌検出状況・一般細菌培養検査とAST(抗菌薬適正使用支援チーム)介入状況報告があります。薬剤部からは、届出対象抗菌薬の使用状況、長期使用患者数、AST介入状況等について報告があります。

新型コロナウイルス感染症流行下にあつて、医療従事者(委託業者含む)や患者さん等病院内の全ての人がマスクを着用するユニバーサルマスクングと手指衛生励行に努めています。さらにワクチン接種やマニュアルに沿った感染対策の対応で院内感染防止に努めています。

(文責 副委員長[感染対策室] 福島 貴子)

## 4 感染部会

感染部会は院内感染対策委員会の下部組織として設置し、日々の対策の見直し・改善・啓発活動に取り組んでいます。部会構成部署として、診療部・看護部・薬剤部・検査科・放射線科・リハビリテーション科・ME管理室・食養科・事務部門で構成、組織的な活動を継続して実施しています。

取り組み内容として

(院内教育) 全職員が年2回の研修会に参加できるよう部門毎に参加者の名簿を配布し、研修会参加への働きかけを行いました。新型コロナウイルス感染症流行下において、集合教育が困難な時期にはDVDを利用し部署ごとの視聴会実施や、研修会資料配布による確認テストを実施しました。

(業務見直し) 主に部門ごとのマニュアルや手順書の見直し・修正を実施しました。昨年度作成した環境清拭ワイプ使用方法と感染症対応フローについて使用状況の確認と再周知を行いました。今後も適宜見

直しを行い、対策の実施に取り組んでいきます。

(手指衛生) 感染対策の基本となる手指衛生を推進するため、毎月の使用量調査や啓発活動を実施しました。個人使用量の上位ランク者や職種別・部門別使用量ランク等についてポスターを作製し掲示しました。今後も適切な場面で手指衛生が実施できるよう調査の実施やフィードバックによる啓発活動を行っていきます。

(院内ラウンド) 電子カルテ端末、个人防护具、感染性廃棄物について調査し、結果を掲示・フィードバックを行いました。今後も感染対策の観点から、院内の様々な場所をラウンドし現状調査と改善策の提示を行っていきます。

(文責 副部長 [感染対策室] 福島 貴子)

## 5 輸血療法委員会

2022 年度の輸血療法委員会は、6 回開催しました。血液製剤の使用状況や院内輸血療法に関する問題点、改善点等を中心に、輸血療法の適正化に努めました。

### 1. 主な検討項目

- ① 院内統一輸血マニュアルの改訂
- ② 大規模災害時血液製剤準備指示書・同意書の作成

### 2. 輸血用血液製剤の使用状況

輸血管理料Ⅱ(110 点)+適正使用加算(60 点)取得しています。

血液製剤	単位数
赤血球製剤	1,924
新鮮凍結血漿製剤	86
濃厚血小板製剤	1,305
HLA 適合血小板製剤	0
洗浄血小板製剤	0
自己血	91
合計	3,406
輸血患者数(実人数)	453
FFP/RBC 比(0.27 以下)	0.04

アルブミン製剤	本数
高張アルブミン [12.5g/50ml/瓶]	377
等張アルブミン [11.0g/250ml/瓶]	23
アルブミン使用量(g)	4,965.5
アルブミン使用量(単位)	1,655.2
投与患者数(実人数)	92
アルブミン使用比(2.0 以下)	0.8

### 3. 副作用報告

副作用発生は 20 名、21 症状でした。副作用報告内訳は以下の通りです。

投与製剤	赤血球製剤	新鮮凍結血漿製剤	血小板製剤	自己血	合計
報告数	16	2	2	1	21

赤血球輸血において TACO(輸血関連循環過負荷)と診断された症例が 1 例ありました。

### 4. 院内研修会

本年度は、2 回開催しました。

第 1 回 2022 年 7 月 29 日「安全な輸血のために」

講師 神奈川赤十字血液センター学術課 中村圭太氏

第2回 2023年3月 「輸血副反応について学ぼう」(誌面開催)

編集担当 検査科 矢野佐知子

第1回は新人輸血関連職員を対象に、第2回はCOVID19流行の影響を受け昨年度に引き続き誌面開催とし、関係職員への研修を実施致しました。

本年度も無事故であったことを皆様に感謝致します。

(文責 委員会事務局 矢野 佐知子、委員長 中塚 逸央)

## 6 放射線安全委員会

放射線安全委員会は、放射性同位元素等の規制に関する法律により定めた井田病院放射線障害予防規程に基づき放射線発生装置及び関連する施設並びに設備を安全に管理運用するために必要な事項について調査及び審議を行っています。

本年は放射性同位元素等の規制に関する法律第12条の9及び第12条の10の規定により、5年に1回放射線施設の定期検査・定期確認を受けることが義務付けられており、その該当年度にあたるため、9月30日に検査を受審し、「所定の基準に適合する」と判断され、10月5日付で合格証が交付されています。

「放射線障害予防規程に定める事項に関するガイド」が原子力規制委員会より発出され、「線量測定の信頼性の確保及び放射線測定器の点検・校正に係る措置の取り入れ等」を当院の放射線障害予防規程に盛り込み、放射性同位元素等の規制に関する法律第21条3項の規定により、放射線障害予防規程変更届を原子力規制委員会へ提出しています。

当委員会は2023年2月、書面による持ち回り会議により開催し、審議の結果、全員意義なく承認されています。

主な審議事項は以下のとおりとなります。

- ・放射線業務従事者の管理状況について
- ・放射線施設自主点検結果について
- ・医用放射性廃棄物の廃棄状況について
- ・放射線治療関連機器の管理状況について
- ・放射線計測器の標準校正について
- ・放射性同位元素等の規制に関する法律に基づく定期検査・定期確認の受審について
- ・放射線障害予防規程変更届の提出について

(文責 委員長 [放射線治療科 部長] 福原 昇)

## 7 医療ガス安全管理委員会

2022年度は、3月1日(水)に委員会を開催しました。

2021年度の医療ガス設備保守点検は、6・9・12・3月に行なわれ、各病室等に設置しておりますアウトレットバルブやスライドベースに各所で緩みがありましたので、増し締めして対応しております。その他には異常がないことを確認しました。その他の点検以外の措置として、No.1、2コンプレッサーの中間整備

を行いオートドレン、Vベルト及びゲージ圧力を交換しております。他には空気除湿装置(エアラインスターE900 D)No.1ラインのプレフィルター、アフターフィルター、ファインフィルター、ファイナルフィルターが劣化していたため交換しております。その他は大きな異常はありませんと報告がありました。

また、CE設備定期自主検査においても2021年7月、2022年1月に行われそれぞれ「異常なし」の報告がありました。

医療ガス設備の日常点検についても、異常や故障等はありませんでした。

2021年度病院立入検査(医療監視)の中で医療ガス設備の書類審査を行いました。特に指摘事項等はありませんでした。

医療ガス安全点検に係る業務の監督責任者に中塚委員長、実施責任者に毛利副委員長が任命されました。

(文責 書記 [庶務課] 八十島 大輔)

## 8 衛生委員会

### 【構成】

衛生委員会は、毎月第3木曜日に開催し、今年度は12回開催しました。

委員の構成は医師5名(産業医4名含)、衛生管理者1名、看護師2名、診療放射線技師1名、庶務課事務職1名、労働組合員5名、保健相談員1名の計16名となっています。

労働安全衛生法第18条に基づき、職員の健康障害の防止と健康の保持増進および快適な職場環境の形成促進を目的としており、公務災害の原因および再発防止対策で衛生に係わるもの、その他衛生管理に関する事項について調査・審議しました。

### 【定期健康診断等】

例年のとおり、定期健康診断(雇入れ時健診・人間ドック含む)、深夜業務従事者健康診断、電離放射線業務者健康診断などの健診、HBV検査を行いました。表1に健康診断受診状況を示します。

### 【各種ワクチン接種】

抗体価の著しく低い職員に対し、B型肝炎、麻疹、風疹、水痘及びムンプスのワクチン接種をしました。また、秋には原則的に全職員に対し、インフルエンザワクチンの接種を行いました。表2に接種状況を示します。

### 【公務災害等】

2022年度の公務災害及び通勤災害の認定請求件数は9件でした。針刺し事故の中で、血液媒介型感染リスクのあるものは0件でした。表3に請求状況を示します。

### 【職場巡視】

産業医・衛生管理者の視点から、安全衛生についての目的を定めて巡視を行い、各職場へのフィードバックに努めました。

(文責 書記 [庶務課] 鹿島 倫江)

表 1 2022 年度 定期健康診断等受診状況

健康診断（検診）の内容	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
定期健康診断	687	672	97.8%
電離放射線健康診断（前期）	103	99	96.1%
電離放射線健康診断（後期）	103	94	91.3%
有機溶剤等取扱者健康診断（前期）	9	8	88.9%
有機溶剤等取扱者健康診断（後期）	8	7	87.5%

表 2 2022 年度 ワクチン接種状況

ワクチンの種類	接種者数（人）
HBワクチン	26
麻疹ワクチン	34
風疹ワクチン	6
麻疹風疹混合ワクチン	20
水痘ワクチン	2
ムンプスワクチン	31
インフルエンザワクチン	880

表 3 2022 年度 公務災害請求状況

疾病名	職種	被災日	治療	種類
左手中指刺傷	臨床検査技師	2022/6/13	通院	公務災害
右内腿打撲	看護師	2022/6/17	通院	公務災害
左手関節捻挫、左肘関節捻挫	看護師	2022/6/20	通院	公務災害
外傷性擦過傷	看護師	2022/7/12	通院	公務災害
膝部外傷性潰瘍	看護師	2022/8/3	通院	通勤災害
ヒト交傷	看護師	2022/8/13	通院	公務災害
右手第3指刺傷	臨床検査技師	2022/8/23	通院	公務災害
腰椎捻挫、右股関節挫傷、右大腿骨頸部骨折	看護助手	2022/11/18	入院・通院	公務災害
交傷	看護師	2022/12/29	通院	公務災害

## 9 働き方改革推進委員会

働き方改革推進委員会は、井田病院に勤務する病院職員の勤務環境の改善、医師及び看護職員の負担の軽減ならびに処遇の改善に関する取組計画を作成し、評価や見直しを行うことを目的としています。当委員会を設置するまでは病院職員の勤務環境等については他の会議や委員会等で議論していましたが、2018年2月に厚生労働省の医師の働き方改革に関する検討会より「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」が示されたこともあり、川崎市病院局の方針として井田病院においても、2018年10月に当委員会を独自に設置する運びとなりました。

委員会では、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の評価及び見直しを行うほか、医師労働時間短縮計画の作成やタスクシェアの課題等についての意見交換を行いました。また、各医師の時間外勤務実態を把握し、必要に応じて院長ヒアリングを行う等、長時間勤務の是正に努めました。

さらに、2024年4月1日から施行される改正医療法により、医師に対する時間外労働の上限規制が適用されることから、医師の長時間労働削減の取り組みの一つとして、HCU及び緩和ケア当直に宿日直許可を2023年3月22日に取得しました。

今後も病院職員の勤務環境改善のため委員会としての役割を担っていきたいと考えております。

(文責 委員長[病院長] 伊藤 大輔)

## 10 薬事委員会

薬事委員会は、開催日を毎月第4月曜日と規定し、2022年度は10回開催しました。委員の構成は、医師8名、看護師1名、検査技師1名、医事課事務職1名、薬剤師2名の計13名です。

院内・外で使用する医薬品や検査試薬等に関する新規採用の可否および採用中止薬品についての審議のみならず、医薬品に関する様々な情報の共有や、問題点の検討等も行っております。

### 1. 院内院外共通採用薬及び院外専用採用薬の審議について

新規採用の申請医薬品は「薬事委員会要綱」に基づいて審議し、その結果を院長等に答申し、承認を得て使用可能となります。

2022年度に答申・承認された医薬品は、院内院外共通採用薬：34品目（規格切り替えを除く）、院外専用採用薬：16品目でした。また、一定期間使用実績のない薬品について、院内採用を取りやめる取り組みを行うことにより、採用薬品数の削減にも努めています。

後発医薬品への切り替えも鋭意進めており、2022年度末における後発医薬品使用率（数量ベース）は、88.9%であり、国の指標とする80%をクリアしています。

### 2. 薬事委員会の議事録要旨

薬事委員会の議事録要旨は、その都度、電子カルテトップ画面、薬事委員会からのお知らせに掲示しています。

(文責 書記 [薬剤部] 北村 充)

## 11 医療機器管理委員会

医療機器管理委員会は医療機器における保守点検計画の策定、保守点検の実施確認、医療機器教育研修、医療機器安全情報周知等、医療機器の運用・管理について検討しています。毎月第4水曜日に開催し、2022年度の主な活動内容は以下の通りです。

- ① 医療機器購入廃棄情報の集約と配置状況の確認。
- ② 医療機器年間保守計画書の作成と実施確認。
- ③ 委員会による医療機器研修の実施と部署研修の把握。
- ④ 医療機器安全情報の共有と検討。

今後も医療機器管理委員会では医療機器の適正な運用・管理に努めてまいります。

(文責 副委員長 [MEセンター担当係長] 千葉 真弘)

## 12 透析機器安全管理委員会

透析で使用する透析用水は、洗浄・準備・治療における全ての工程で使用するため、適切な検査と管理が求められます。当委員会では透析に使用する水質検査や、透析装置のメンテナンス状況を毎月確認し、問題発生時には改善に向けて検討を行っています。2022 年度も適切な検査と管理のもと、透析用水は高い清浄度を維持できています。今後も細心の注意を払い水質検査のほか、透析装置や関連機器の適切な管理に努めてまいります。

(文責 副委員長 [MEセンター担当係長] 千葉 真弘)

## 13 医療放射線管理委員会

医療法施行規則の一部を改正する省令(平成 31 年厚生労働省令第 21 号 2020 年 4 月 1 日施行)に基づき、診療用放射線の安全かつ有効な利用を確保するため、各施設で「診療用放射線の安全利用のための指針」を定めることが義務化され、この指針に基づき運用を行っております。当委員会は、その指針に基づいて調査及び審議を行うものとして位置付けられております。

当委員会は 2022 年 3 月、書面による持ち回り会議により開催し、審議事項は全員意義なく承認されております。報告事項は以下のとおりとなります。

### 1) 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修について

研修方法は、事前に「放射線の正当化に関する事項」のテキスト及び確認問題を配布し、回収するという手法を採用しております。

研修対象者は 207 名(69.5%)とし、その内訳は、医師 92 名(56.5%)、病棟看護師 24 名(100%)、外来看護師 40 名(90%)、臨床工学技士 7 名(71.4%)、診療放射線技師 22 名(100%)、管理係 1 名(100%)、医師事務 21 名(100%)、となっております。なお、カッコ内の数値は確認問題の回収率を示します。

### 2) 線量管理の対象となる医療機器に応じた実施記録の管理について

CT の線量管理については、CT 診断参考レベルの線量と当院の CT 線量との比較を行い、その最適化について検討を行っております。

### 3) 診療用放射線の安全利用のための指針の改定について

医療放射線管理責任者の要件に関する事項の内、医療放射線管理責任者が職務を行うことができない期間中、その職務を代行させるため、代理者の選任について追加しております。

なお、本指針は、電子カルテのトップページ お知らせ欄の「放射線科」に掲載されています。

(文責 委員長 [放射線診断科部長] 山下 三代子)

## 14 医療事故防止対策委員会

医療事故防止対策委員会は、医療事故の原因究明と再発防止を目的に開催します。今年度は 5 回開催しました。

(文責 [医療安全管理室] 小海 照美)

## 15 治験・臨床研究倫理審査委員会

本委員会は、井田病院において実施予定の治験や臨床研究について、倫理的、科学的及び医学的・薬学的観点から、実施の妥当性を審査しています。

2022年度は6回開催し、治験0件、臨床研究13件、製造販売後調査3件について審査を行いました。本委員会の手順書、委員名簿及び議事録は、井田病院のホームページに掲載しています。

(文責 委員会事務局 [薬剤部] 杉本 裕基)

## 16 倫理委員会

当委員会は、院内で行われる医療行為及び医学の研究について、倫理的、科学的及び社会的観点から審査を行うことを目的としておりますが、2022年度は検討課題がありませんでした。

(文責 書記 [庶務課] 岡本 拓郎)

	開催日	検討課題	審議の結果
		なし	

## 17 保険委員会

当委員会は、保険診療及び診療報酬請求の適正化・向上を目的として活動しています。

委員の構成は、医師18名、看護師1名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、事務職員5名の計27名です。

査定内容を審査支払機関ごとに分析し、医学的判断による査定については積極的に再審査請求を実施した結果、2022年度の査定率は0.1%となりました。

保険診療の適正化及び診療報酬請求の精度向上の取り組みとして、岩田壮吉婦人科部長による勉強会「保険診療とレセプト審査」を実施しました。初期研修医及び専攻医を中心に55名が参加し、保険医療制度や保険医療費担当規則について理解を深めました。

今後も適正な保険診療・診療報酬請求が行えるよう活動を継続して行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 横倉 悦美)

## 18 DPC委員会

当委員会は、「適切なDPCコーディング」を行う体制の構築・維持を目的とし活動しています。

委員の構成は、医師18名、看護師1名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、事務職員5名(診療情報管理士2名)の計27名です。

当院はDPC対象病院として12年目となりました。

DPC勉強会では、初期研修医及び専攻医を中心に55名が参加し、DPC制度の概要について理解を深めました。

2003年の発足当初は1860で開始した診断群分類も今では4000を超え、より精度の高いDPCコーディングが求められています。今後も医師、診療情報管理士、DPC担当者が協力し適切なDPCコーディングができるよう、体制の構築・維持に努めてまいります。

(文責 書記 [医事課] 横倉 悦美)

## 19 診療情報管理委員会

本委員会は医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、医事課、庶務課、富士通のシステムエンジニア(以下、S.E)等の委員で構成されており、病院業務の中で生じた電子カルテ等のシステム上の問題点

を、その都度各部署から挙げていただき、本委員会で検討のうえ、S.E を通じて修正することにより病院業務が円滑に行えるようにしています。

今年度は、11 回委員会を開催しました。

12 月には電子カルテのレベルアップが行われ、皆様の御協力により円滑に終了いたしました。来年度においても、1 月に電子カルテのレベルアップを行う予定でありますので皆様の御協力をお願い申し上げます。

(文責 委員長 [整形外科部長] 水谷 憲生)

## 20 診療録管理委員会

2012 年度に診療情報管理委員会の部会として組織されていた診療録管理部会は、2013 年度から委員会に昇格して活動を開始しました。

2022 年度は、4 回委員会を開催しました。

2020 年度病院機能評価において指摘を受けた診療記録等の量的点検については、運用面での課題を話し合いました。また、診療記録等の量的点検マニュアルの 3 役会議での承認及び運営会議での周知、並びに各診療科への配布について、検討しました。

電子カルテ内に新規登録や変更を提案された帳票については、承認、修正などの審査を行いました。さらに今年度は、同意書について、患者さんの視点に立って、適切な書式、レイアウトとなっているかについて議題として取り上げ、委員が意見交換しました。来年度は、この点について、関係部署の意見を踏まえて、さらに議論を深めていく予定です。

来年度も今年度に引き続き、退院後 2 週間以内のサマリー作成率の向上、並びに診療情報管理規程の改定作業に引き続き取り組むとともに、川崎病院とも連携し、入院、外来の紙の診療記録等の保存期間の統一について議論を行う等、委員会としても積極的に活動をしていく予定です。

(文責 委員長 [糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

## 21 救急医療運営委員会

当委員会は、突然の傷病で救急搬送される方々や、緊急受診される方々や、あるいは院内で急変される方々に迅速に対応し応急処置を提供するため、救急センター（現：救急総合診療センター）を基軸とした救急医療体制を構築・整備することを目的に設置されました。診療科間の協力体制の構築、当直業務の検討（部会）、救急隊との連携、救急関連医療資材の検討・救急教育や研修会の企画（部会）、災害時医療等委員会との連携、などをおこなっています。委員会開催日は、毎月第 2 水曜日です。

救急総合診療センターは開設から 8 年目となりましたが、2019 年度より市立川崎病院との連携を強化し、2020 年度からは準夜においても、より多くの救急傷病に対応可能な体制に更新しました。

救急総合診療センターの受入拡大に向け、昨年度に引き続き、応需可能な診療内容の見直しや小児用救急カートの整備を実施しました。また、2022 年 7 月には、中原区・二次救急当番制の試行を開始し、2022 年度の救急車応需数は 2,923 件（2021 年度 2,392 件）と増加しました。

今後も「断らない救急」の確立に向けて、救急医療体制の構築・整備に努めてまいります。

(文責 [救急総合診療センター長] 田熊 清継)

## 22 当直検討部会

当直検討部会は、2019年度に「当直業務の課題解決に向けた検討会」として立ち上げられ、当直時間帯における運営方針や協力体制、院長代行の業務などについて検討を行い、「当直業務に関する合意事項」を定めるなど、当直業務に関する様々な諸課題の解決に向けて関係者による協議を行ってまいりました。2020年度からは救急医療運営委員会の部会として正式に院内委員会組織に位置付けられたところです。

2022年度は全7回の部会を開催し、医師当直簿のコメント記載欄に記入された内容について毎回の部会で検証を行うとともに、緩和ケア内科のオンコール体制や中原2次火金土当番制などについて検討を行い、その内容については親会である救急医療運営委員会に上げて決定し、決定した内容を電子カルテトップページに掲示し、関係者間で情報共有を図るなど対策を講じました。

今後も引き続き、当直業務の様々な諸課題について、改善に向けて協議を行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 五十嵐 大介)

## 23 災害時医療等委員会

当委員会は、救急医療検討委員会の下にあった災害時医療専門部会が2015年4月に委員会に格上げされたことにより設置されました。毎月第2木曜日を定例日として開催し、災害時医療に関する事項について約50人の委員で協議、検討しました。

当院は令和4年7月1日付で神奈川県の災害拠点病院に指定され、災害時に担う役割が大きくなってきています。

2022年度の主な実績としては、①事業継続計画(BCP)の大幅改訂 ②消防訓練の実施③県内医療機関間での情報伝達訓練等の通信訓練の実施 ④D-HIMS(災害用情報共有ツール)の導入・稼働に向けた活動⑤災害時に備えての物品購入等があります。①については、グループ活動を通して災害拠点病院にふさわしい実効性の高い事業継続計画(BCP)の作成に努めました。当委員会では今後も多くの訓練、研修会等を通じて更なる災害時医療の強化に努めてまいります。

(文責 書記 [庶務課] 久保 明子)

## 24 地域連携委員会

地域連携委員会は、「当初、地域の医療機関との連携、支援を推進する。」ことを目的として、2014年度に発足しました。

### 1 2022年度の実績

#### (1) 委員会開催実績

2022年度は、委員会を11回開催しました。以下に委員会での主な議題を記載します。

2022年度 地域連携委員会の主な議題

日時	主な議題
5月20日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について
6月17日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について
7月15日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎診療のご案内について ◎クリニック訪問について
8月19日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎診療情報提供料について
9月15日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について
10月21日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について
11月18日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について
12月16日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎診療情報提供料について
1月20日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について
2月17日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について
3月17日 16:30～	◎紹介受入・他院紹介患者数について ◎紹介率・逆紹介率について

(2) 取組内容

ア クリニック等に対する当院医師の紹介

当院の診療科医師を紹介する冊子「診療のご案内」や地域医療部だよりを発行し、医療機関へ送付しました。

イ 地域連携の会について

地域の医療機関といわゆる「顔の見える関係」を築き、その連携を強化することを目的とした地域連携の会ですが、コロナ禍により開催を見送りました。

ウ クリニック訪問

2022年度は106ヶ所のクリニック・病院を訪問しました。

エ 出前講座

高齢者施設や福祉センター等で出前講座を13回開催しました。

## 2 来年度に向けて

継続的に地域の医療機関との連携強化を図るとともに地域医療支援病院名称承認に向けて取り組んでまいります。

(文責 書記[地域医療部] 尾上 茂樹)

## 25 地域がん診療連携拠点病院推進委員会

地域がん診療連携拠点病院推進委員会は、「地域がん診療連携拠点病院として体制を整備し、推進する。」ことを目的として、2014年度に発足しました。

### 1 2022年度の実績

#### (1) 委員会開催実績

2022年度は、委員会を6回開催しました。以下に委員会での主な議題を記載します。

2022年度 地域がん診療連携拠点病院推進委員会の主な議題

日時	主な議題
5月10日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について
8月9日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件の現状について ◎がん診療連携拠点病院等の整備について
9月13日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎令和3年度がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金の内示について
10月11日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎地域がん診療連携拠点病院の指定更新に関する資料提出について ◎2022年度神奈川県がん教育外部講師育成WEBセミナーの開催について
11月8日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎地域がん診療連携拠点病院の指定更新に関する現況報告書の提出について
2月14日 16:30～	◎地域がん診療連携拠点病院の指定要件に規定される診療実績について ◎地域がん診療連携拠点病院の指定状況について ◎多地点合同メディカル・カンファレンスのご案内

#### (2) 取組内容

地域がん診療連携拠点病院の指定継続

井田病院における地域がん診療連携拠点病院の指定期間については、2016年4月1日から2027年3月31日までの11年間となっておりますが、指定要件を満たしているかの現況報告は毎年行っております。よって、毎月開催される委員会の議題として診療実績(指定要件)の確認は欠かさず行っております。

主な指定要件は次のとおりです。

### 【診療実績】

- ◎院内がん登録数 500 件以上
- ◎悪性腫瘍の手術件数 400 件以上
- ◎がんに係る化学療法のべ患者数 1000 人以上
- ◎放射線治療のべ患者数 200 人以上
- ◎緩和ケアチームの新規介入患者数 50 人以上

### 【診療従事者】

- ◎常勤専従の放射線治療医師
- ◎常勤専任の放射線診断医師
- ◎常勤の病理診断医師
- ◎放射線治療室に専任の常勤看護師 1 名以上
- ◎専従の化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師
- ◎専任の細胞診断に係る業務に携わる者
- ◎「相談支援センター相談研修・基礎研修」(1)～(3)を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者
- ◎国立がん研究センターによる研修を受講した専従の院内がん登録を担う者 1 人以上

## 2 来年度に向けて

平成 28 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 11 年間、地域がん診療連携拠点病院として指定を受けておりますが、毎年現況報告の提出を求められますので、今後も指定要件についてはクリアしていかなければなりません。

また、ただ指定要件を充たせばよいだけではなく、当院は『かわさき総合ケアセンター』があることから、検診から診療、在宅医療から週末期医療までを行う「シームレスな医療」を提供する病院として更に力を発揮していかなければなりません。

次年度も委員の皆さんを中心として、病院が一丸となり、「地域がん診療連携拠点病院」を推進してまいります。

(文責 書記[地域医療部] 尾上 茂樹)

## 26 キャンサーボード

キャンサーボードとは、多職種のプロが集まり患者さんの治療方針を多方面から考え決定する会議です。2014 年以前は、基本的には単科のみで治療方針を決定し、疾患自体が多臓器にわたる場合のみ複数科の医師が集まって治療方針を決定しているにすぎませんでした。しかし、2014 年度からは、各科のカンファレンスになるべく複数の科の医師が参加するようにはしただけではなく、看護師や病理検査、放射線診断部門など多部門で治療を検討できるようにしました。また、最初の治療のみならず治療の過程における二次治療決定をも、一時治療評価後にしっかりと検討していくように組織化されました。病理組織像を検討材料に取り入れている、臨床病理キャンサーボードも呼吸器センターや消化器センターが取り入れ、これまで実施してきております。

今後も、院内の多職種連携をつよめ、診療の質向上に取り組んでいきたいと考えます。

#### ① 病院全体がん診療連携協議会

多臓器にまたがる症例や原発不明癌、特殊な生物学的進展を示すものを複数科の医師および他職種で話し合う最も大きながん診療連携協議会。病理検査部や放射線診断部も参加する。年1～2回開催。

#### ② 部門臓器別がん診療連携協議会

それぞれのセンターあるいは診療科を中心に行うが、その他に診療科例えば放射線診断部や緩和ケア科を巻き込み、また看護師・薬剤師・栄養士などの多職種も参加し、多方面からの検討を行う。

##### 2-1 消化器がん診療連携協議会（原則2回/週）

外科の手術前に消化器および乳腺悪性腫瘍の症例を多職種で検討。また病棟入院後の悪性腫瘍患者についても多職種で集まって治療方針を検討している。

##### 2-2 乳腺がん診療連携協議会（原則1回/週）

##### 2-3 呼吸器がん診療連携協議会（原則1回/週）

#### ③ 臨床病理がん診療連携協議会

##### 3-1 消化器センター臨床病理がん診療連携協議会

##### 3-2 乳腺臨床病理がん診療連携協議会

##### 3-3 呼吸器センター臨床病理がん診療連携協議会

（文責 〔腫瘍内科部長〕西 智弘）

## 27 化学療法管理委員会

2022年度は月例として8回開催（うち1回は回議にて実施）し、新規・変更レジメンの審査、承認を行いました。2022年3月末で、10診療科から約305レジメンが登録されています。新たな試みとして、抗がん剤曝露対策の強化を図りました。手術室における肝動脈化学塞栓療法は、これまで手術室内での抗がん剤ミキシングを行っていましたが、薬剤部内の安全キャビネットでのミキシングを行う運用に変更しました。また原則全ての抗がん剤において閉鎖式接続器具を使用することで、より一層の曝露対策強化を行いました。

委員会で承認されたレジメン及び、抗がん剤投与に関するマニュアルは、電子カルテシステムの初期画面に掲載しているため、どの職種でも閲覧可能です。2022年度より化学療法関連マニュアルをマニュアル関連フォルダー箇所に踏襲し、血管外漏出等の緊急時によりアクセスしやすいよう改めました。また、レジメンについては井田病院ホームページにも掲載しています。

（文責 書記〔薬剤部〕内田 昌）

## 28 クリニカルパス委員会

本委員会は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、医事課より21名の委員で構成され、新規クリニカルパス（以下パス）の立案や評価、運用中パスの問題点等を検討しています。

2022年度は糖尿病内科より4件、泌尿器科より3件、婦人科より1件、腎臓内科より1件の申請があり、8件が

承認となりました。

院内全体のパス適用率は31.1%でした。委員会では目標である院内パス適用率40%以上を目指し、今後も新規パスの立案、質の向上を図って参ります。

(文責 書記 [医事課] 横倉 悦美)

## 29 褥瘡対策委員会

2022年度は、奇数月に多職種で定例会議を開催し、マニュアル班・データ班・研修班に分かれ活動しました。マニュアル班では、診療報酬改定に伴い、『褥瘡診療計画書』・『DESIGN-R2020に基づいた褥瘡評価シート』、『褥瘡治療に用いられる当院採用薬』の見直しを行いました。データ班では、リンクナースが中心となり、褥瘡のほか、スキンケア・医療機器関連圧迫創傷の発生状況を把握することに取り組みました。研修班では、全職員向けに「スキンケア勉強会」の企画・運営を行いました。1月5日に開催し、安西医師・牛込主任が講師を務め、43名の参加がありました。

また、チームラウンドとして、褥瘡回診を毎週木曜日午後実施しました。今年度の褥瘡発生率は0.073%（前年度減0.001）で、院内発生件数は63件でした。

(文責 副委員長 [看護師長] 大溝 茂実)

## 30 NST(栄養サポートチーム)運営委員会

入院患者個々の症例・病態に応じて適切な栄養管理を実施することを目的とし、2005年度2月よりNST運営委員会を立ち上げました。2011年2月に栄養サポートチーム加算の施設基準を届出、2011年3月から加算の算定を開始しました。2021年度は専任の医師2名、看護師4名、薬剤師2名、管理栄養士1名、十歯科医師の体制で回診を行いました。管理栄養士においては専従から専任となり、1日15人以内の介入となりました。また、歯科医師が回診に参加することにより2016年度から新設された歯科医師連携加算(50点)を2018年度より算定開始しています。2020年度の診療報酬改定にて、条件付きではありますが結核病棟における加算も認められ、7月の結核病棟再開から回診を行っています。

現在、毎週火曜日に回診・カンファレンスを実施し、低栄養患者への介入だけではなく、経腸栄養療法患者の栄養管理、手術予定者、抗がん剤治療予定者の栄養低下の予防のための介入も行っています。介入の結果、経口摂取だけではなく、経腸栄養や静脈栄養に関する介入が増加しています。

院内スタッフに向けては院内勉強会を4回開催し、知識の向上を図りました。参加者は延べ111名でした。

回診患者数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介入数	55	51	53	59	72	58	59	74	58	57	57	43	696
加算数	50	42	49	50	59	54	41	61	49	43	40	31	569

(文責 委員長 [内科担当部長] 栗原 夕子)

### 31 嚥下・口腔サポートチーム部会

NST 運営委員会の委員会内組織として活動を継続しています。入院患者への質問紙による嚥下スクリーニング検査と口腔アセスメント(OHAT-J)は、ほぼ全患者に継続して行っており嚥下機能や口腔内の状態を早期に把握することが可能になっています。今後は看護師による改訂水飲みテスト施行が対象患者に行えるよう勉強会を繰り返し施行し、嚥下機能評価に対する更なる質の向上を目指していきたくと考えます。また、2022年4月から多職種でのカンファレンスを実施しながら摂食嚥下機能回復体制加算を算定し計359件の算定を行うことができました。今後も多職種で連携し病院全体で嚥下障害患者に対するケア向上を目指し活動を行っていきたくと考えます。

(文責 [リハビリテーションセンター担当係長] 谷内田 綾)

### 32 給食委員会

給食委員会は隔月第3木曜日に開催し、2022年度は6回開催しました。

委員の構成は医師4名、看護師1名、栄養士5名、オブザーバー給食委託業者2名の計12名となっています。

栄養管理の向上と充実、適正な病院食運営を図る目的で協議しました。毎回、検食率、検食簿記載内容と記載内容への対応を報告、給食材料費や患者給食数・栄養指導件数、給食業務委託状況、誤配膳や異物混入などのインシデントを報告しました。

嗜好調査の実施案を検討、10月に実施した食事アンケート結果を報告しました。満足度は「満足している」と答えた人が昨年度46.2%と比較し、38.6%と減少しましたが、「満足していない」「しかたない」と答えた人が減少し、「満足している」「普通」と答えた人が84.3%と昨年度の78.3%と比べ増加しています。回答の理由としてはおかずの味付けが「薄い」と答えた人の割合が最も多くみられました。当院では日本人の食事摂取基準に基づき、塩分量を設定しているため、普段摂取している食事よりも塩分量の少ない食事になっていることが考えられます。薄味でもおいしい食を提供できるよう、調理方法の工夫や、栄養指導などを通して発信していきます。

今後も要望等を検討し、献立作成に反映させ、よりよい食事を提供することで患者の満足度を向上させるよう努めていきたくと思います。

(文責 副委員長[食養科長] 北岡 聡子)

### 33 職員研修委員会

教育研修に関する企画、実行、評価による職員の資質の向上を目的とし、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、事務職員で構成されています。2022年度も例年同様に各委員会が中心となり、人材育成を推進するため積極的に研修を実施しました。

(文責 書記[庶務課] 府中 仁)

### 34 研修管理委員会

2022年度の初期研修医は、2年目は、池瞳先生、王野添鋭先生、廣瀬怜先生、藤塚帆乃香先生、藤原修先生の5名でした。1年目は、落合志野先生、谷岡友則先生、西本寛先生、山内智喜先生、山田園子先生の5名でした。

委員会では、初期臨床研修医のプログラム修了判定や、履修実績及び今後の履修計画等の報告をいたしました。

(文責 書記[庶務課] 府中 仁)

### 35 看護師特定行為研修部会

看護師特定行為研修部会は、特定行為に必要な手順書の作成や特定行為受講者の支援を行っています。2022年度は、特定看護師の実践に関わる記録用紙等の整備を行い、共有しました。

(文責 委員長 [副院長] 鈴木 貴博)

### 36 図書委員会

当委員会は、医療情報の収集及び提供をはかり、職員の日常業務の向上に資する適切な図書室運営を推進するために設置されました。

2022年度は計5回の図書委員会を開催し、例年同様各部署から挙げて頂いた購入希望図書・雑誌・各種データベース等について協議しました。当年度より NACSIS-CAT/ILL(国立情報学研究所[NII]が実施しているデータベースの相殺システム)を導入しました。それにより、文献の取り寄せサービスが格段に向上しました。また、文献の取り寄せを公費負担とすることで、課題として挙げられていた洋雑誌価格高騰への課題解決と相成りました。

今後も当委員会は皆様の教育・研究支援をしてまいります。どうぞご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(文責 委員長 [教育指導部長] 金澤 寧彦)

### 37 機種・診療材料選定委員会

当委員会は、医療機器の仕様の決定や診療材料の採用に関する審議を行っています。

2022年度の委員会の開催と、審議を経て購入した機器、採用した診療材料は次表のとおりです。

(文責 書記 [庶務課] 山田 さおり)

2022年度 機種・診療材料選定委員会における審議について

回	日時	医療器械の機種選定		診療材料の審議	
		番号	機器名	番号	診療材料名
第1回	4月25日	1	ガンマ・ファインダーⅢ		<なし>
		2	血管撮影X線診断装置一式		
第2回	9月5日	1	ディスクパブリッシャー		<なし>
		2	除細動器		
		3	全身麻酔器		
		4	透析装置		
第3回	11月15日	1	腹腔鏡用スコープ		<なし>
		2	送信機		
		3	血管撮影装置		
第4回	3月23日		<なし>	1	超短時間判定用生物学的インジケータプロセスチャレンジデバイス
				2	ケアガーゼ4折 滅菌済
				3	ケアガーゼ8折 滅菌済
				4	ケアガーゼX 滅菌済

### 38 市民交流・サービス向上委員会

本委員会はボランティア活動を支援し、患者サービスの向上、療養環境の向上や市民の方々との交流を図る事を目的として「教育研修・調査改善部会」、「投書部会」、「院内環境改善部会」、「ボランティア部会」の4つのグループ体制で、次のとおり活動を行いました。

#### 1 教育研修・調査改善部会

##### (1)教育研修担当

9月15日、(元 井田病院 医事課長) 片野 修司氏を講師として「高齢者の特徴と接遇」をテーマとし、接遇研修を実施しました。

##### (2)待ち時間調査担当

外来診療・会計待ち時間調査を2回実施しました。

##### ア 外来診療待ち時間調査

実施日	R4年7月4日～8日	R4年12月12日～16日
平均対象者数	443.8人	528.2人
平均待ち時間	19分56秒	19分39秒

#### イ 外来会計待ち時間調査

実施日	R4年7月4日～8日	R4年12月12日～16日
平均対象者数	369人	414.4人
平均待ち時間	19分01秒	23分14秒

#### (3)満足度調査担当

外来・入院患者・職員満足度調査を実施し、12月に満足度調査報告会を行い、院内職員に対して報告いたしました。

対象者	外来患者	入院患者	職員
実施期間	7月11日、12日、15日	7月11日～9月2日	
有効回収率	98.4%	43.3%	62.4%
総合満足度 (満足+やや満足)	88.4%	93.4%	45.5%

## 2 投書部会

毎週火曜日に外来、各病棟フロアに設置している投書箱から投書を回収し、水曜日の午後に部会を開催しました。また、頂いたご意見は担当部署に回答や対応を依頼するとともに、三役会議にも投書内容を伝え、回答を返書又は院内に掲示しました。

## 3 院内環境改善部会

院内・院外の環境の整備と病院利用者の視点で院内の快適性を配慮し安全で安らぎの療養環境を提供することを目標に活動し、院内の掲示物や清掃の点検を行いました。12月20日には職員による病院周辺の美化活動を実施しました。

## 4 ボランティア部会

今年度も新型コロナウイルス感染症対策による入館制限に伴い、院内のボランティアの活動が自粛となり、屋外での園芸活動のみ実施いたしました。ボランティア登録者と連絡を取りながら、ボランティア活動を継続しました。

<年間行事>

- ※通年活動
- ・屋外ガーデンでの園芸活動
  - ・屋外ガーデンの植物の写真を、外来エリアに展示

7月	七夕笹飾りつけ
10月	東京交響楽団による院内コンサート
12月	クリスマスの飾りつけ
1月	お正月の飾りつけ
3月	吊るし雛の飾りつけ

(文責 委員長[副院長] 篠山 薫)

### 39 ホームページ・広報委員会

ホームページ・広報委員会は、井田病院に関する情報を市民等に広報することを目的として設置しています。所掌事務は、ホームページの管理・運営等に関する事、病院広報誌「井田山」の発行に関する事、病院の広報に関する事です。市民や医療従事者等に向け、正確かつ分かりやすい情報提供を行えるよう定期的にホームページの保守管理及び更新を行っています。また、井田病院の情報をタイムリーに提供するため、委員で活発な情報収集と検討を行い、情報の発信を適時行っています。

2022年度は委員会を4回開催し、病院広報誌「井田山」は4回発行しました。

号数	発行日時	ページ数	主な記事
第74号	4月28日	4	○病院長のご挨拶 ○新任医師を紹介いたします ○患者満足度調査の結果報告について ○芝生広場が完成 ○市内産「のらぼう菜」を使用した食事を提供しました
第75号	8月10日	4	○災害拠点病院に指定されました ○看護の日のイベントを開催しました ○薬剤部のご挨拶 ○診療科紹介 ～皮膚科～ ○がん・総合健診センターを開設しました ○熱中症対策について ○食中毒に注意しましょう
第76号	11月30日	4	○東京交響楽団による弦楽四重奏コンサートが開催されました ○診療科紹介 ～乳腺外科～ ○中原区民祭に出展しました ○市内産の多摩川梨を使った食事を提供しました ○デマンド交通「チョイソコかわさき」の実証実験が開始されました
第77号	1月31日	4	○年頭のご挨拶 ○診療科紹介～耳鼻咽喉科～ ○患者満足度調査を実施しました ○当院のマンモグラフィ検査をご紹介します ○川崎市内産のブロッコリーを使った食事を提供しました ○人間ドックオプションに大腸内視鏡検査が加わりました ○総合消防訓練を実施しました

(文責 書記〔庶務課〕中本 琴音)

### 40 臨床検査管理委員会

2022年度の当委員会は、2月に1回開催しました。検討内容として、医師・看護部と検査科の活発な意見をもとに、業務改善に向けて話し合いました。

おもな検討内容は下記のとおりです

- ・白血球5分画実数報告についての運用について検討し了承されました。
- ・病理診断結果見落とし防止についての運用について検討し了承されました。
- ・CAPD液等穿刺液の報告方法について運用について検討し了承されました。

今後も本委員会を通じて、各診療科と看護部および検査科で、密接に意思疎通を図りながら、当院の診療体制をより充実したものにしていきたいと考えています。

(文責 [検査科担当課長] 佐野 剛史)

#### 41 外来診療委員会

外来診療委員会は、外来運用の安定稼働や患者サービス等の外来診療環境の向上を図ることを目的として設置しています。

2022年度は、全2回の開催となりました。会計待ち時間について、予約なしで紹介状を持参した方の受け入れ確認についてなど、外来診療に係る諸課題について改善に向けて検討を行いました。

当委員会では、今後も引き続き、外来診療に係る様々な諸課題について、改善に向けて検討を行ってまいります。

(文責 書記 [医事課] 五十嵐 大介)

#### 42 手術部委員会

手術部委員会は医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士、薬剤師、中央滅菌室、庶務課、医事課、SPDのメンバーで構成され、手術室における物品管理や滅菌管理を含む様々な課題に対応しております。

今年度は手術件数、オープン枠使用状況、使用期限切迫品の報告の他、新型コロナへの対応、手術枠、インシデント、手術データの管理方法などにつき検討・実施しました。

(文責 [麻酔科部長] 中塚 逸央)

#### 43 HCU 委員会

2017年度までは手術室・ICU・CCU 運営委員会として運営されていましたが、2018年度よりHCU委員会となりました。

当委員会は偶数月に開催しており、稼働状況の報告とともに入退室基準等、HCU についての様々な課題について検討を行い、HCUの円滑な運営に努めております。

2022年度は入院時重症患者対応メディエーターの介入報告やHCU当番の交代などについて確認を行いました。

2022年度の具体的なHCUの運営状況につきましては「集中治療室」の項をご覧ください

(文責 委員長 [麻酔科部長] 中塚 逸央)

#### 44 院内がん登録運用委員会

「院内がん登録」とは、国が定める「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、外来、入院を問わず、当院を初診で診断、治療の対象となった悪性新生物と一部の悪性以外の新生物に対して、情報を収集し登録する仕組みです。

「がん診療連携拠点病院」である当院では必須要件として、毎年、「院内がん登録」業務を行い、作成したデータを院内がん登録データ、全国がん登録データとしてそれぞれ国と県へ提出しています。

2022年の院内がん登録件数は、1,166件で、予後調査は501件実施しました。

「院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関」として本委員会は設置し、今年度は1回開催しました。院内がん登録業務を実施している診療情報管理室が、院内の各部署で患者家族等から電話等で得られた予後情報を把握する際の運用上の課題、医師へのTNM分類のカルテ記載の周知について、議論を行いました。

《院内がん登録に関する実績》

	2020年	2021年	2022年
院内がん登録件数	1,254	1,030	1,166
予後調査件数	607	227	501

来年度も、引き続き「院内がん登録運用マニュアル」に則ったがん登録の実施、他病院と比較した井田病院のがん診療における立ち位置に加えて、院内がん登録オプトアウト運用手順についても、委員会で議論を行ってまいります。

(文責 委員長[副院長] 掛札 敏裕)

#### 45 地域包括ケア病棟運営委員会

地域包括ケア病棟は、急性期医療が終了した後に、リハビリテーションや訪問介護指導等を行い、在宅療養への退院支援を目的として平成28年4月に開設され、平成28年11月1日から、地域包括ケア病棟入院料2を算定する病棟として正式運営となり、今日に至っています。

2022年度は委員会を8回開催しました。今年度の診療報酬改定で、入院患者に占める一般病棟から転棟した患者の割合が6割未満となったことを受け、2022年3月現在で満たされていない6割未満の院内転棟率について、9月までにどのようにして達成するか活発に議論を行いました。具体的な活動として、院内転棟率の電子カルテの初画面掲示板への掲載、並びに直接入院患者の増加等、今後の地域包括ケア病棟の運用についての院内全体へ周知等を行いました。その結果、関係者各位の努力と連携により、9月までに6割未満達成をすることができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

2023年度は、6割未満の院内転棟率を前提に、収益向上のためにどのようにして稼働率を上昇させるか、また、そのためにどのような患者を受け入れればよいか等の議論を行っていく予定です。

今後とも地域との架け橋となる病棟として、近隣の病院や地域の開業医、訪問介護ステーション等と協力して、在宅療養の実現に向けた地域包括ケア病棟の運用を行っていきたいと考えております。

(文責 委員長 [整形外科部長] 水谷 憲生)

## 《地域包括ケア病棟施設基準に関する実績》

### 1 リハビリの実施状況

	対象患者 実数	延べ 対象期間	実施単位数	平均単位数	一日の 平均対象者数
5月	18	240	640	2.67	6.0
6月	18	239	671	2.81	7.0
7月	24	325	708	2.18	8.3
8月	23	291	686	2.36	8.1
9月	21	292	724	2.48	7.6
10月	25	405	975	2.41	10.5
11月	22	293	732	2.50	8.0
12月	19	238	594	2.50	6.5
1月	18	199	464	2.33	5.2
2月	22	367	860	2.34	10.6
3月	24	326	794	2.44	8.9

施設基準 2.0 以上

### 2 在宅復帰率

	在宅復帰率	退院者総数
5月	89.9%	57人
6月	88.6%	51人
7月	87.7%	54人
8月	87.8%	50人
9月	86.1%	58人
10月	84.4%	56人
11月	83.2%	51人
12月	83.4%	70人
1月	82.6%	49人
2月	80.9%	66人
3月	83.5%	63人

施設基準 72.5%以上

### 3 重症度、医療・看護必要度

	7対1病棟群	地域包括基準
5月	33.10%	14.10%
6月	34.60%	20.00%
7月	31.40%	20.90%
8月	32.20%	14.10%
9月	32.80%	10.70%
10月	37.50%	17.20%
11月	36.40%	14.90%
12月	35.00%	21.20%
1月	36.00%	17.30%
2月	37.10%	20.80%
3月	32.80%	21.50%

施設基準 28%以上 8%以上

### 4 病床稼働率

	入院患者延数	一日平均患者数	稼働率	在院日数
5月	980	31.6	70.30%	16.6日
6月	902	30.1	66.80%	17.2日
7月	1008	32.5	72.30%	15.6日
8月	1010	32.6	72.40%	18.5日
9月	873	29.1	64.70%	14.3日
10月	868	28	62.20%	14.0日
11月	867	28.9	64.20%	13.7日
12月	1091	35.2	78.20%	14.9日
1月	988	31.9	70.80%	15.5日
2月	1146	40.9	91.00%	17.1日
3月	1101	35.5	78.90%	15.0日

## 《地域包括ケア病棟への転入実績》

### 1. 病棟別転入件数

病棟名	3西	4東	5西	5東	6東	7西	PCU	合計
件数	2	55	23	141	84	89	0	394

### 2. 診療科別転入件数

診療科名	内科	呼吸器内科	腎臓内科	糖尿病内科	肝臓内科	消化器内科	循環器内科	リウマチ科	緩和ケア内科
件数	63	48	45	26	1	35	25	22	1
診療科名	外科	乳腺外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	合計	
件数	4	0	119	1	4	0	0	394	

## 46 緩和ケア委員会

緩和ケア委員会は、「緩和ケアの提供、運用が適切、円滑に行われるよう体制の整備、推進を図る」ことを目的として、2017年度に新たに発足しました。2022年度は、緩和ケア研修会、緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会、かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の準備運営を緩和ケア委員会が担い、計9回委員会を開催致しました。

### 1 2022年度の実績

#### (1) 委員会開催実績

2022年度は、委員会を9回開催しました。以下に委員会での主な議題を記載します。

2022年度 緩和ケア委員会の主な議題

日時	主な議題
5月10日 16:00～	◎令和4年度緩和ケア委員会名簿について確認 ◎緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会及びかわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の開催日時及び担当割振について確認 ◎研修会開催前及び当日の主な業務について確認 ◎第1回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会内容及び講師・運営担当確認
6月7日 16:00～	◎第1回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の報告 ◎第1回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認 ◎研修会予定の確認
7月5日 16:00～	◎第1回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の報告 ◎第2回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認 ◎第2回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認 ◎「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」受講率状況確認

9月6日 16:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎第2回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の報告</li> <li>◎第2回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎第3回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎令和4年度緩和ケア研修会(12/18 井田病院にて実施)の確認</li> </ul>
10月4日 16:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎第2回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の報告</li> <li>◎第3回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎第3回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎第4回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認</li> </ul>
11月1日 16:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎第3回緩和ケアスキルアップフォローアップ研修会について報告</li> <li>◎第3回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容確認</li> <li>◎第4回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容確認</li> <li>◎第4回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容確認</li> <li>◎第5回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容確認</li> <li>◎第5回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容確認</li> <li>◎令和4年度緩和ケア研修会(12/18・井田病院にて実施)の確認</li> </ul>
12月6日 16:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎第3回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の報告</li> <li>◎第4回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎第4回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎第5回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容確認</li> <li>◎第6回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容確認</li> <li>◎令和4年度緩和ケア研修会(12/18・井田病院にて実施)の確認</li> </ul>
2月7日 16:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎第4回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の報告</li> <li>◎第4回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の報告</li> <li>◎第5回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎第4回緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎第6回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎緩和ケア研修会(12/18・井田病院にて実施)の報告</li> </ul>
3月7日 16:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎第5回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の報告</li> <li>◎第6回かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会の内容及び講師・運営担当確認</li> <li>◎令和5年度緩和ケア委員会の確認</li> </ul>

## (2) 緩和ケア研修会

2021年度に引き続き、地域がん診療連携拠点病院として、「緩和ケア研修会」を川崎市立川崎病院と共催で開催しました。並びに「緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会」を実施し、コロナ禍であることを

鑑み ZOOM を併用した研修会も実施しました。

① 緩和ケア研修会

12月18日(日)の1日間で開催しました。今年度は井田病院が主催し、川崎病院が共催しました。

この研修会は、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠しており、研修修了者は厚生労働省より緩和ケア研修会修了証書が交付されます。

院内より13人の参加があり、13名全員が修了証書の交付を受けました。

当院の受講率は、2022年9月1日現在で、ア.自施設に所属する臨床研修医100.0%、イ.1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師96.6%、ウ.1年以上自施設に所属するがん診療に携わらない医師・歯科医師66.7%、エ.1年以上自施設に所属していない医師57.1%でした。

令和4年度 川崎市立井田病院「緩和ケア研修会」プログラム

日時	テーマ	時間	担当者	役職・職種	
12月18日 (日)	研修会の開会・開催にあたって	10:00 ～10:15	久保田 敬乃	医師	
	E-learning の復習・質問	10:15 ～11:15	久保田 敬乃	医師	
	地域緩和ケアの取り組み	11:25 ～11:55	濱田 麻里子	看護師	
	昼食休憩				
	『コミュニケーション』 がん医療におけるコミュニケーション 【オリエンテーション】	12:45 ～14:15 ○90分	柴田 滋文 佐藤 恭子 安藤 孝 夏 錦言 三島 牧 西 智弘 梶谷 美砂 栗田 華代 久保田敬乃 秋本 香南 都留 世里 鈴木 果里奈 大河 寿子	医師            看護師 看護師	
	【グループワーク】ロールプレイ ○ロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習 ○がんと診断された時から行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明				
	休憩				

	<p>『がん疼痛事例検討』</p> <p>【講義】</p> <p>○全人的苦痛に対する緩和ケア（膵臓がん）</p> <p>【グループワーク】</p> <p>○グループ演習による症例検討 がん疼痛に対する治療と具体的な処方</p> <p>休憩</p> <p>『療養の場所の選択と地域連携』</p> <p>がん患者の療養場所の選択、地域における医療連携、在宅における緩和ケア</p> <p>【講義】</p> <p>○がん患者の療養場所の選択及び地域連携についての要点</p> <p>○在宅における緩和ケア</p> <p>【グループワーク】</p> <p>○グループ演習による症例検討</p> <p>ふりかえり&amp;ポストテスト</p>	<p>14:25 ～15:55 ○90分</p> <p>16:05 ～17:35 ○90分</p> <p>17:35 ～17:50 ○15分</p>	<p>西 智弘 佐藤 恭子 久保田 敬乃 安藤 孝 三島 牧 夏 錦言 柴田 滋文 梶谷 美砂 栗田 華代 秋本 香南 都留 世里 鈴木 果里奈 大河 寿子</p> <p>久保田 敬乃 佐藤 恭子 安藤 孝 三島 牧 柴田 滋文 夏 錦言 西 智弘 梶谷 美砂 栗田 華代 秋本 香南 都留 世里 鈴木 果里奈 大河 寿子</p> <p>久保田 敬乃</p>	<p>医師</p> <p>看護師 看護師</p> <p>医師</p> <p>看護師 看護師</p> <p>医師</p>
--	---	--	---	---

② 緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会

第3火曜または木曜日の夜に計4回開催しました。

この研修会は、より実践的に緩和ケアについて学ぶことができる内容で、2022年度は、院内外より、延べ156人の医師・医療従事者の参加がありました。第1回、2回、4回はZOOMも併用し、延べ48人がZOOMで参加されました。

### 緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会 研修参加人数(2022)

回	日時	医師		看護師		コメディカル		合計
		院外	院内	院外	院内	院外	院内	
第1回	5月17日	0	9	2	14	18	8	51
第2回	7月19日	0	6	1	11	23	2	43
第3回	10月18日	1	7	7	12	8	7	42
第4回	12月15日	0	4	0	4	7	8	23
合計		1	26	10	41	56	25	159
		27		51		81		

### 令和4年度緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会プログラム

1. 時間：18：00～19：00
2. 場所：川崎市立井田病院 2階会議室
3. 参加対象者：医療従事者、介護関係者等で在宅ケア・緩和ケアに従事している方及び関心のある方
4. プログラム日程表

	開催日	テーマ	講師	職種
第1回	5月17日	テーマ：がん患者の疼痛管理 「がん性疼痛の診方-ことはじめ-」 「がんサポートチームの活動について」	久保田 敬乃 鈴木 果里奈	医師 看護師
第2回	7月19日	テーマ：がん終末期の予後関連因子あれこれ 「緊急入院となった終末期患者の予後関連因子についての検討」 「終末期の腫瘍性尿路閉塞」	梶谷 美砂 栗田 華代	医師 医師
第3回	10月18日	テーマ：壮年期がん患者とその家族への意思決定支援 「医師の立場から」 「がん相談支援センターの看護師の立場から」	増田 香織 濱田 麻里子	医師 看護師
第4回	12月15日	テーマ：川崎市のリハビリテーション	齋藤 薫	医師

#### (3) かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会

2021年度に引き続き、地域がん診療連携拠点病院として、第3火曜または木曜日の夜に計6回開催しました。

この症例検討会は、地域のニーズをふまえ地域のネットワーク作りを目指した内容で、2022年度は院内外より延べ246人の参加がありました。第5回は、事例検討をグループワークで行う初の試みを行いました。

かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会 研修参加人数(2022)

回	日時	医師		看護師		コメディカル		合計
		院外	院内	院外	院内	院外	院内	
第1回	6月21日	0	3	13	8	8	3	35
第2回	9月20日	2	8	5	14	7	3	39
第3回	11月15日	1	4	7	13	14	10	49
第4回	1月17日	0	4	5	12	5	2	28
第5回	2月16日	3	5	17	4	19	2	50
第6回	3月14日	1	5	13	10	10	6	45
合計		7	29	60	61	63	26	246
		36		121		89		

令和4年度かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会プログラム

1. 時間：18：00～19：00
2. 場所：川崎市立井田病院 2階会議室
3. 参加対象者：医療従事者、介護関係者等で在宅ケア・緩和ケアに従事している方及び関心のある方
4. プログラム日程表

	開催日	テーマ	講師	職種
第1回	6月21日	テーマ：対麻痺の在宅療養患者を支える 「医師の立場から」 「訪問看護師の立場から」	大野 洋平 下山 旬三子	医師 看護師(訪問看護ステーション)
第2回	9月20日	テーマ：在宅で困る尿道カテーテル管理とストマトラブル 「医師の立場から『症例』」 「認定看護師の立場から」	栗田 華代 牛込 志乃	医師 看護師
第3回	11月15日	テーマ：在宅終末期における患者家族の意向の支え方 「その人らしく過ごすために」 「薬剤師としてできること」	増田 香織 山崎 瑞恵	医師 薬剤師(カメイ株式会社ヘルスケア事業部ファーマシー事業課)
第4回	1月17日	テーマ：つなぐ看護～院内でシームレスに対応した一例～ 「退院調整看護師の立場から」 「訪問看護師の立場から」	白澤 佳代 坂内 ひろみ	看護師 看護師

第5回	2月16日	テーマ：癌を受容せずサービスを拒否する終末期患者の在宅ケア	木村 一貴	医師
第6回	3月14日	テーマ：下半身麻痺が進行した末期がん患者の看護を振り返って		
		「管理栄養士としてできること」	増井 さゆみ	栄養士
		「レスパイト入院を入れながら自宅療養を継続した利用者と家族への支援」	門山 道子	看護師（訪問看護ステーション井田）

#### (4) 取組内容

##### ア 緩和ケアの現況と課題について

緩和ケア病棟の運営、転院相談、在宅緩和ケア、教育研修などの現況と問題点を委員で確認し課題解決に向けて検討しました。

##### イ 緩和ケア研修会の運営等について

一昨年度からは緩和ケア委員会のメンバーが主体となって運営しました。コロナ禍のため、今年度はZoom 併用で研修会を開催しました。

## 2 来年度に向けて

引き続き緩和ケア全般の課題、問題点を検討していくとともに緩和ケア関連の研修会の運営を委員会のメンバーで担っていきます。また、さらに研修会の講師に外部講師を増やし、地域連携も進めたいと思います。

(文責 委員長[在宅緩和ケアセンター所長] 佐藤 恭子)

## 47 がんサポート・緩和ケア部会

2003年より緩和ケアチームとして活動を始め、2009年6月から専従医師・専従看護師が配置されました。地域がん診療連携拠点病院として、院内および地域のがん患者とその家族に対して、質の高い緩和ケアの提供をめざし「がんサポートチーム」の名称で活動しています。

2018年4月より引き続き、専任医師として久保田敬乃医師が配置されました。2021年7月より引き続き、専従医師として増田香織医師が配置されました。専従看護師は、2019年4月から引き続き、鈴木果里奈（緩和ケア特定認定看護師）が配置されました。その他のチームメンバーは緩和ケア内科医、精神科医、放射線治療科医、薬剤師、栄養士、公認心理師、理学療法士が所属し、多職種が連携してチーム医療を提供しています。

がんサポートチームは、一般病棟に入院中の緩和ケアを必要とする患者を毎日回診し、週2回の合同カンファレンスと週1回のチーム合同回診を行っています。2022年度がんサポートチームの依頼件数は301件でした。2012年から活動を開始した非がんサポートチームの依頼件数は51件でした。非がん疾患患者に対する緩和ケアは、行政の方針においても拡充が求められており、当院でも年々増加傾向にあります。介入の内容は、疼痛緩和、その他の症状緩和、精神的ケア、家族ケア、当院緩和ケア病棟や在宅部門の訪問診療及び訪問看護の介入も含む療養場所の選択、意思決定支援など多岐にわたります。

国の指針である早期からの緩和ケアの推進を具体化させる手段として、2014年5月から緩和ケアに関するスクリーニングを開始しています。2022年度のスクリーニング件数は445件でした。がんと診断された時から患者が切れ目のないケアを受けられるように、がん看護緩和ケア班のリンクナースと協働し、スクリーニングの推進とがん看護・緩和ケアの質の向上のためさまざまな活動を行っています。さらに神奈川県がん診療連携協議会・緩和ケア部会では、県内の病院と緩和ケア提供体制について情報共有を行い、がん患者の療養生活の質の向上に努めています。

(文責 [がんサポートチーム専従看護師] 鈴木 果里奈)

#### 48 病床管理運営委員会

今年度は、病床管理運営要領について、新型コロナウイルス感染症を勘案した内容に改定しました。また、川崎市立井田病院共同利用病床運営要綱についても現状に合わせた形に改定を行いました。今後も、病床管理運営要領に沿った適切な病床運用・管理を推進いたします。

(文責 書記[医事課] 宿田 友子)

#### 49 ハラスメント防止対策委員会

ハラスメント防止対策委員会は、川崎市立井田病院におけるセクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメントの防止及び対策を講じることを目的として2020年8月に設置しました。

2022年度は、ハラスメント防止対策委員会を2回開催しました。相談に対し、ヒアリング、ハラスメントに該当するかの判定、課題整理、必要な介入を行いました。

今後も相談者のプライバシーに十分配慮し委員会としての役割を担っていきたいと考えております。

(文責 委員長[病院長]伊藤 大輔)

#### 50 糖尿病サポートチーム委員会

半田前糖尿病内科部長の時代に立ち上げられた糖尿病サポートチームは井田病院の糖尿病診療を支えてまいりましたが、2021年度より院内委員会の1部門として承認され、以前と同様に糖尿病療養指導の質の向上を図るべく活動しております。活動内容といたしましては、糖尿病診療機器、様々な教育用機器を利用した注射指導などの知識や経験の共有を昨年度に引き続き行いました。また院外・院内における糖尿病チームの在り方や対外的な周知活動、院内広報活動をいかにすべきか、糖尿病や合併症、関連疾患について院内パラメディカル教育目的の勉強会の在り方につきチーム内でサブグループを作り協議いたしました。協議した内容をもとに2023年以降のチーム委員会を活動運営していく予定です。今後は新型コロナウイルス感染症で開催できなかった患者会の開催、年1回の世界糖尿病デーのイベントの施行なども含め井田病院の糖尿病診療に厚みを持たせること、さらに人手不足になりがちな療養スタッフの充実を図ることを目標に時代の診療の流れに乗り遅れることなく活動して参りたいと思います。

(文責 委員長[糖尿病内科部長] 金澤 寧彦)

## 51 認知症ケア運営委員会

認知症ケア運営委員会は、2021年4月に院内委員会に設置されました。認知症ケアサポート医、認知症看護認定看護師、作業療法士、ソーシャルワーカー、病棟リンクナースとともに連携し、院内の認知症ケアの向上のため、週1回のチーム回診を行っております。委員会は毎月第2週金曜日に開催し、2022年度は12回開催しました。認知症患者の周辺症状やせん妄の対応について協議し、事例の検討やスキルアップのための勉強会を行いました。今後も病棟リンクナースとともに連携し、質の高い認知症ケア、看護を提供できるように努めていきたいと思っております。

(文責 委員長[リハビリテーション科・脳神経外科担当部長] 三島 牧)

# VIII 取得図書



## 1 利用統計(図書室所蔵資料等の統計)

### 1 単行書

単行書	冊数
洋書	201
和書	4170
計	4371

(2023年3月31日現在)

### 2 製本雑誌

製本雑誌	冊数
洋雑誌	848
和雑誌	1890
計	2738

(2023年3月31日現在)※製本は2020年度より廃止

### 3 相互貸借

申入件数	受付件数
90	558

(2022年4月1日～2023年3月31日)

### 4 メディカルオンライン利用統計

PDFダウンロード件数	5449
FAX取り寄せ件数	9

(2022年4月1日～2023年3月31日)

### 2 単行書受入

洋書 2冊  
和書194冊  
視聴覚資料 17点

### 3 EBMツール

1 UpToDate Anywhere  
2 DynaMed  
3 今日の診療

### 4 文献検索ツール

1 医学中央雑誌Web  
2 最新看護索引Web

### 5 電子書籍ツール

1 メディカルオンライン  
イーブックスライブラリー

## 6 現行受入雑誌(洋雑誌)

- 1 Anesthesiology (Online)
- 2 Arthritis and Rheumatology (Online)
- 3 Cancer(Online)
- 4 Chest(Online)
- 5 Clinical Infectious Diseases (Online)
- 6 JAMA
- 7 Journal of Clinical Oncology (Online)
- 8 New England Journal of Medicine

### ・電子ジャーナルパッケージ

(洋)

- 1 ProQuest Medical Database
- 2 Medline with Full Text
- 3 ClinicalKey

(和)

- 1 メディカルオンライン
- 2 医書.jp

## 7 現行受入雑誌(和雑誌)

- 1 Expert Nurse
- 2 INFECTION CONTROL(感染対策室別置)
- 3 INNER VISION(放射線科別置)
- 4 Orthopaedics
- 5 Visual Dermatology
- 6 画像診断(放射線科別置)
- 7 クインテッセンス
- 8 クインテッセンス デンタルインプラントロジー
- 9 月刊ナースマネジャー
- 10 重症集中ケア
- 11 腫瘍内科
- 12 ソーシャルワーク実践研究(地域医療部別置)
- 13 日経ドラッグインフォメーション(薬剤部別置)
- 14 メディカル・テクノロジー(検査科別置)
- 15 レジデントノート
- 16 看護
- 17 看護技術
- 18 看護人材教育
- 19 看護展望
- 20 緩和ケア

- 21 救急医学
- 22 月刊ナーシング
- 23 月刊新医療
- 24 消化器外科
- 25 消化器内視鏡(内視鏡C別置)
- 26 心エコー(検査科別置)
- 27 全国自治体病院協議会雑誌 \*
- 28 地域連携・入退院支援
- 29 日本医師会雑誌 \*
- 30 日本外科学会雑誌 \*
- 31 日本透析医学会雑誌 \*
- 32 日本内視鏡外科学会雑誌 \*
- 33 日本病院会雑誌 \*
- 34 日本臨床外科学会雑誌 \*
- 35 病院安全教育
- 36 保健師・看護師の結核展望
- 37 臨床リウマチ \*
- 38 臨床栄養(食養科別置)

\*は寄贈雑誌

**川崎市立井田病院年報**

第 5 2 号 (2022 年度版)

令和 5 年 (2023 年) 12 月発行

編集・発行 川崎市立井田病院

〒211-0035 川崎市中原区井田 2 丁目 27 番 1 号

電 話 044 (766) 2188 (代)

F A X 044 (788) 0231